

つなぐ

ふるさと宇和島／南予

新春号
2024 No.25

ご自由にお取りください



たち

特集

なぜ、全国レベルのボート競技がこの街に根付いたのか

宇和島競漕物語

インタビュー「自分の歌がふるさとへ届いているのが嬉しい！」 シンガーソングライター 大石 昌良

C o n t e n t s

- 01 エッセイ 「鈴虫と戦争」 ローゼン 千津
- 02 インタビュー シンガーソングライター 大石 昌良
「自分の歌がふるさとへ届いているのが嬉しい！」
- 05 撮り歩きなんよ 冬至のだるま夕日 写真家 北濱 一男
- 06 特 集 なぜ、全国レベルのボート競技がこの街に根付いたのか 宇和島競漕物
 - 08 3中学対抗競漕会での惨敗
 - 09 応援歌「思へば過ぎし」誕生
 - 10 「宇和島の年中行事」となった校内端艇競漕会
 - 11 「競漕王国宇和島」の復活
 - 12 水産課程のあった 宇和島南高等学校時代にボート部誕生
 - 13 なかなかボートには乗れない練習環境
 - 14 指導者の横顔
- 19 森本秀樹展を訪ねて / 銀座ギャラリーズの活動と共に 森本秀樹
- 20 文ちゃんとどつぽの
予土線のあの人に会いたい 6 無手無冠 4代目女将 山本紀子さん
- 22 いのちのはなし グーチョキパー 6 「つながってる！」 文/毛利弘子
- 23 南予の祭り歳時記 愛南町久良「能山踊り」 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本 敬久
- 24 医 療 「鉄欠乏性貧血について」 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 25 食めぐり 「免疫力を高める食事とは」 管理栄養士 柑橋ソムリエ 和田 広美
シーフードマイスター
- 26 お気楽 俳句 小野 更紗 絵/律川 エレキ おすすめ本/岩崎書店
- 27 つなぐ美術館 べにばら画廊/アトリエぱれっと
- 28 うわしん若手経営塾OB 若おかみ 13 亀井蒲鉾 専務取締役 亀井 万織
- 29 斗酒百篇 / 4コマ漫画「きさいやくん」



福寿草 (撮影/北濱一男)



表紙 / 「幸運を呼び込む」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ 愛媛県宇和島市出身
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす
現在は個展やイベントへの出品等で活躍中

つなぐ新春号 No.25

〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21

0895-23-7000

年4回発行 (季刊誌)

配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻純滋

本誌掲載内容の無断転載を禁じます

物騒なタイトルですみません。国際結婚の我々夫婦は、戦争について話すと喧嘩になることもあるんですが、道後上人坂の我家の二軒隣の宝蔵寺さんへ、犬を連れてお参りし、世界平和を祈るときは、心は一つです。その宝蔵寺にて、法話とチェロの夕べ（世界初？）という催しを開いて頂きました。前半は三十代の僧侶小池陽人さんの法話。後半が七十代のローゼンのチェロ演奏。老いも若きも、檀家の皆様も、俳句仲間も、音楽の友も集まり、大入満員。宝蔵寺の境内から夕日に染まる松山城が見え、お城の天主閣からは道後の山が見えます。虚子が詠んだ風景そのままなんです。

遠山に日の当たりたる枯野かな 高濱虚子
(冬の季語…枯野)

プログラムは、ブラームスのチェロソナタ一番、バッハ無伴奏チェロ組曲、ヴァン・ゲンスのスケルツォ、サン＝サーンスの白鳥。楽器を最大限に美しく響かせようと、ローゼンが汗水垂らして演奏していると、小さな蛾や大きな蚊がふらふら飛んで来ます。最前列に座ったご婦人が、チェリストを邪魔せぬよう、手でそっと追い払ってくれます。鈴虫や松虫の声が光り輝く球のようにりんりんと、本堂全体を包んで鳴り響きます。晩秋に残る虫たちがリサイタルの賑わいに集まっ

鈴虫と戦争

ローゼン千津



Photographer : 一楽

と一緒に歌ってくれたのでしょうか。こんな風に、詩や音楽や友情に繋がって美しい時間を過ごしますか？ それともまだ戦争続けますか？

秋の蚊のただよふ無伴奏バッハ 朗善千津
(秋の季語…秋の蚊)

久しぶりに、姉の夏井いつき夫妻にもローゼンのチェロを聞いて貰うことができました。

「オネエサン、オネエサン、カクテルを飲みましょう」と、姉の顔さえ見れば、ローゼンは得意のシェーカーを振りたがります。「ニックの日本語またうまくなっている」と、姉はいつも励ましてくれます。日本語クラスには後輩も増えてきました。

おしゃべりをして数珠玉の実をつなぐ
朗善千津
(秋の季語…数珠玉)

2024年12月22日、愛媛交響楽団の定期演奏会（愛媛県民文化会館）にて、ローゼンが、「フロ作曲チェロ協奏曲二短調」を弾きますので、是非ともお越し下さい。『つなぐ』誌を見て来ましたと、声を掛けて下さい。一緒に音楽を楽しみましょう!!



ローゼン千津 ろうぜんちづ

(株) 夏井 & カンパニー・ライター。エッセイスト。俳号朗善千津。いつき組組員。チャイコフスキー国際コンクール金メダルチェリストの夫ナサニエル・ローゼンの付き人。俳人の姉夏井いつきと共著『寝る前に読む一句、二句。クスリと笑える17音の物語』、『食卓で読む一句、二句。お腹がぐう〜と鳴る17音の物語』(株) ワニブックス発行。

ナサニエル・ローゼン公式ウェブサイト
<https://nathanielrosen.net/>



ミセス・ローゼンの道後日記
<https://blog.goo.ne.jp/msgecko>



「自分の歌がふるさとへ届いているのが嬉しい！」

シンガーソングライター << OISHI MASAYOSHI 大石 昌良

私が彼に初めて会ったのは2009年の春、当時編集していた情報誌の取材で訪れた松山市にある小さなライブ会場だった。そこで彼の圧倒的な歌声と宇和島県漂う楽曲に心震わされ、思わず涙があふれた事を昨日の事のように覚えている。

そして昨年12月2日、「大石昌良デビュー15周年記念宇和島スペシャルライブ」が宇和島市で開催され念願のインタビューが実現した。

幼稚園の頃、まだカラオケボックスもない時代、歌が好きだった彼の日課はお風呂場で歌を歌う事だった。その歌に両親が点数（常に高得点）を付け、更に両親が喜びそうな曲を選んで誉められるという英才教育とも言える日々を送っていて、幼稚園卒業アルバムには、「かしゅになりたい」と書いていたという。

本人が「歌手で、いけるんちゃうかな〜?！」と思った人生のターニングポイントを上げてもらった。

①小学校6年生の時の運動会でアナウンス係になった時、担任から「大石、お前、マイクの通りめちやくちやいな」と誉められた。

②中学校3年の時、クラスメイト6人組で文化祭に出演、ワムのラストクリスマスを歌ったらモチ始めた

（一番のモチ期）。

「歌って、校内での自分たちへの風向きをこんなにも変えるんだと思ひ、その気になった」

③高校2年生の時、仲間とバンドを組み、オリジナル曲を作ってコンテストに応募したら、あれよあれよと言う間に全国大会まで進んで入賞。

「これは、マジで歌手になれるんじゃないか」という思いを胸に神戸の大学に進学する。

大学では軽音楽部に入り、1999年、仲間と結成したバンド「サウンドスケジュール」でメジャーデビューを果たす。以降、音楽の世界で生きていくことになるが、2006年に解散。2008年、宇和島の大浦湾を歌った「ほのかてらす」で大石昌良としてソロデビューする。

その後も秀逸な楽曲を世に送り出すも大きなうねりには繋がらず、苦しい時期を過ごすことになる（宇和島でのライブでも披露した『東京ループ』は、彼の苦しい時期を歌った隠れた名曲のひとつで、「売れなかった」と会場を沸かせた）。

そして、転機となるのが、2013年、テレビアニメ『ダイヤのA』主題歌でアニメソングシンガーとしてのスタートだった。翌年、アニメ・ゲームコンテンツ向けの名義「オ

ーイシマサヨシ」を立ち上げ、『君じゃなきゃダメみたい』でデビュー。（ここから、漢字の「大石昌良」とカタカナの「オーイシマサヨシ」という表現がされるようになる※1）

以降、作ったアニメソングや挿入歌が大きな社会現象になったりして多くのテレビ、ラジオ番組にも出演し、2021年には『世にも奇妙な物語'21秋の特別編』『優等生』に出演し、役者としてのデビューを果たすなど活動の幅を広げている。

「こうして、多くの人に知ってもらえるようになって、ライブ会場へもたくさんの人に来て頂くようになりました。そして、最近、嬉しい事があつた、と話してくれたのが

「高校時代のクラスメイトから小学校4年生の娘が僕が作詞作曲したアニメ『推しの子』の挿入歌『サインはB』を歌ったり、踊ったりしていると聞いて、そういう世代まで自分の音楽が届いているんだと思って、凄く嬉しかったです」と話してくれた。

そして、整理券発行時の混雑ぶりやファンクラブツアーなど、色々な意味で宇和島の社会現象となった今回の宇和島スペシャルライブと今後について聞いた。

「宇和島での単独ライブは、以前からオフアアは頂いていたのですが、今年（大石昌良）ソロデビュー15周

年でもあるので踏ん切りがついて、実現しました。今後については、先ず3月2日の武道館ワンマンライブ（ソールドアウト）を成功させること、去年実現出来なかった大石昌良の二重アルバムをリリースをすること、そして、今までは夢だと思っていたNHK紅白歌合戦に出たいと思っています」

昨年の宇和島でのライブは、熱狂的なファンから初めて大石昌良の歌を聴いたという人まで、多くの人で会場は埋め尽くされ、彼の歌声と楽曲に酔いしれた。また、アンコールでは、母校、宇和島高等学校吹奏楽部との共演もあり、他のライブ会場では見られない文字通りのスペシャルライブとなった。

今回は、ファンクラブのツアーもあり、約180人のファンが宇和島での特別な時間を過ごした。松山からの車中では、母多美さんから大石昌良イチオシの宇和島銘菓「大番」とみかんが全員に配られた。

彼の活躍ぶり今回の凱旋ライブの状況を見ると、まさに「社会現象」と言える。今後ますます彼の動向から目が離せない。

インタビュー・構成／川尻純滋

※1) アニメやゲームコンテンツなどでの歌手活動および、MC業（バラエティ色の強い番組）に出演する際にはカタカナのオーイシマサヨシとして活動している。大石昌良とは遠い親戚という設定であり、外見の違いに大きな黒縁メガネを掛けている事が特徴である



大石 昌良（おおいしまさよし）

1980 年生まれ、愛媛県宇和島市出身。学生時代にスリーピースバンド Sound Schedule を結成し、2001 年にメジャーデビュー。

その後、2008 年に「大石昌良」名義でソロデビュー。その唯一無二の卓越したアコースティックギターの弾き語りスタイルは圧巻。まるで手品のような手さばきで演奏し、現在では YouTube やニコニコ動画などのインターネットソースでも話題を呼び、若い世代からも大きな反響がある。2014 年にはアニメ・ゲームコンテンツ向けの「オーイシマサヨシ」名義としても活動を始める。2017 年、作詞作曲を担当した TV アニメ『けものフレンズ』の主題歌「ようこそジャパリパークへ」が大ヒットを記録。

数多くの人気アニメ主題歌を手掛け、Tom-H@ck とのユニット「OxT」、また他アーティストへの楽曲提供なども行うなど多様な名義を使い分けて活動中。

今大注目のシンガーソングライター、音楽クリエイター



2023.12.2「大石昌良デビュー 15 周年記念 宇和島スペシャルライブ」終演後の記念写真

オーイシ武道館 ～オーイシマサヨシ ワンマンライブ at 日本武道館～

日時：2024 年 3 月 2 日（土） 配信開場：17:30 / 配信スタート：18:00

■出 演 オーイシマサヨシ

■ゲスト グリッドマン（Universe Fighter）ダイナゼノン グリッドナイト

ウルトラマンロzzo ウルトラマンブル REAL AKIBA BOYZ Tom-H@ck

■チケット料金

配信チケット：1,000 円（税込）※手数料別

■チケット販売 URL

<https://ponycanyon.zaiko.io/e/oishibudokan2024>



大石昌良 オーイシマサヨシ オフィシャルウェブ <https://www.014014.jp/>



撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



丸かった夕日が徐々に「だるま夕日」に・・・まさに自然が織りなす神秘的瞬間です（愛南町三ツ畑田島）

冬至のだるま夕日

冬至の頃、愛南町室手海岸に「だるま夕日」が現れ、撮影ポイントには十数人のカメラマンが集まります。「だるま夕日」は高知県宿毛市かんようとうの咸陽島が有名ですが、冬から春先にかけて西に面した愛媛県南予地方の各所に「だるま夕日」が現れます。

愛媛から観る「だるま夕日」は、冬至までは太陽が西に移動するので沈む方向に高い山があったり、条件が揃わないと「だるま夕日」にはなりません。また、色も様々で白や黄色、二色や三色だってありますが真っ赤な「だるま夕日」には、そうそうめぐり合えないのです。それでも足しげく通い、運良く「だるま夕日」に出会えた時の感動はひとしおで、空振りにもめげず通うカメラマンは少なくありません。

好みは人それぞれですが、私は、やはり真っ赤な「だるま夕日」が好きです。



真っ赤な夕日が島と島の間に静かに沈んでいきます



北濱 一男 写真家

1945 年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめ、本格的な写真歴は約 20 数年 奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事

「撮り歩きなんよ」（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>



特集 宇和島競漕物語

なぜ、全国レベルのボート競技がこの街に根付いたのか



宇和島市津島町の下灘地区には180年続く由良神社の和船競争があるが、宇和島市は※1)ボート競技において、県立宇和島東高等学校（以下…宇東高）同宇和島水産高等学校（以下…宇水高）両校から長年、全国トップレベルの選手が輩出される極めて稀な地域と言える。

近代的な形式のボート競技は1700年代にイギリスで発展したらしいが、日本における近代スポーツとしてのボートレースは、明治8（1875）年に来日した英人教師F・Wストレンジが隅田川で外語学校や高等学校の学生にボート競技を教えたことから始まる。

やがて、青少年のボートに対する関心が飛躍的に高まり、明治16（1883）年に島根県第一中学校（松江中学校の前身、現松江北高校）が宍道湖で、同19（1886）年には、津中学校（三重県第一中学校の前身、現津高校）が岩田川でローイングを開始した。こうして、当時の旧制中学校でもこの頃から地理的に恵まれ資金面に余裕があればボートレースが行われていた。そして、その数年後には、この小さな地方都市宇和島でもボート競技が始まる。

宇和島中学校端艇部創設110周年記念誌『佐田の岬』には、松本良之助（宇和島

※1) ボート競技は、ローイング（英語：rowing）、漕艇、端艇、競漕とも呼ばれ、座席（シート）が前後に動きオールを使って脚力で進む船でレースをする競技である。



写真上：2021 年インターハイのダブルスカルで力漕する宇水高の浅井樹心、
梶原勸心ペア

写真中：宇水高前の宇和島湾で校内ボートレース大会の練習をする宇東高生

写真下：宇和島湾で海用のコースタル艇で練習する水産高のボート部員たち

〔協力〕 宇和島東高等学校ボート部顧問 谷口治義
宇和島東高等学校ボート部OB会長 中川正人
宇和島東高等学校関係 監修 湖西成仁
宇和島水産高等学校ボート部顧問 吉田 洋一
宇和島水産高等学校ボート部OB 佐々木瀧雄
佐川印刷株式会社

〔参考資料〕 宇和島中学校端艇部創設 110 周年記念誌 『佐田の岬』
『論考 応援歌「思へば過ぎし」の成立をめぐる』
愛媛県立宇和島水産高等学校 創立 50 周年記念誌



宇和島市の三浦湾で練習する宇東高ボート部員たち

中学校 1 期）の話として、「宇和島の中学生によるボートレースは創立以前の私立明倫館時代（明治 20 年代半ば頃）からあり、松本が※2 分校在学中は、現在の板島橋付近で浮標を巡る回航レースが行われていた」と紹介されている。

このように明治半ば頃には宇和島でも当時の旧制中学生たちがボートを競技として親しんでいたようだ。

では、どのようにして全国レベルのクルーが輩出されるようになっていったのか、更に歴史をひも解いていくことにしよう。

※2）明治 29（1896）年に南予、東予地方に県立中学校設置を求める機運が高まり、宇和島と西条に愛媛県尋常中学校の分校が設置された。なお、南予分校開校式が行われた 5 月 8 日は宇和島東高等学校の「開校記念日」となっている。

3中学対抗競漕会での惨敗

明治29（1896）年4月に開校された愛媛県尋常中学校南予分校だが、同32（1899）年には本校が松山中学校（以下・松中）となり、南予と東予の分校は独立改称して、ともに生徒定員400人の宇和島中学校（以下・宇中）、西条中学校（以下・西条中）となった。

宇中発足時、学校にはボートは1艇しかなかった。ボートレースを実施するには、最低でも2艇必要だ。その為生徒たちの関心は他のスポーツへと向かい、ボート熱は衰えていった。

このような状況に初代校長の尾田信直（宇和島出身※1）帝国大学文科大学国史科卒業）は、自身が師事した木下廣次（のちの京都帝国大学初代総長が説く「ボート競技は、教育的競技であって決して娯楽的競技ではない。奮い起こさるべき士気は、※2 堪忍不撓の精神と※3）同心協力」の精神である」という考えに基づいて、校内で低迷していたボートレースを再開するべく準備を始めた。

そうして、明治33（1900）年6月、フィックスの新艇「雪輪」と「布引」の進水に合わせて第1回校内端艇競漕会が開催された。この競漕会が今日まで続く宇東高校内ボートレース大会の起源である。

※1）同期の卒業生のうち愛媛県人13人、その内宇和島からは中野重太郎（追遥）ら8人もいた。尚、帝国大学は明治30（1897）年、東京帝国大学と改称した
※2）こらえてしのび、ひるまないこと ※3）心を一にし、協力し合い、皆で団結して事にあたること



競漕会後の3中学選手（宇中クルーのユニフォームは胸にUを、松中クルーは斜めの3本ラインが入っている）

- ※2）「明治25（1892）年7月15日ーこの日、子規は碧梧桐・虚子とともに高浜の延齢館に赴き、その一室「雪の間」で競吟（せりぎん）を行った。子規の『雪の間に小富士の風の薫りけり』という句は、この日のことを詠んだ句であろう（『伊予歴史文化探訪』）
- ※3）応援歌「思へば過ぎし」の「あわれ二度（ふたたび）握られぬ」とは、宇中の選手が松中の第一選手のみならず第二選手にまでも敗れたことを嘆いての句である

例の学校行事として主に榊崎沖で催され、大戦による中断などはあったものの、新制高等学校となって久しい今日まで継承され、大会が110回以上に及んでいる意義は大きい。

ところで、宇中の第1回校内競漕会が開かれた翌年、明治34（1901）年9月22日、宇中と西条中の独立2校が松中の校内競漕会に招かれ、3校対校レースが午後の部に組まれた。これが初の3中学対抗競漕会で、ここでの対松中レースの宇中の惨敗が、今日では宇東高ボート部の応援歌となっている。「思へば過ぎし」が誕生する契機となる。

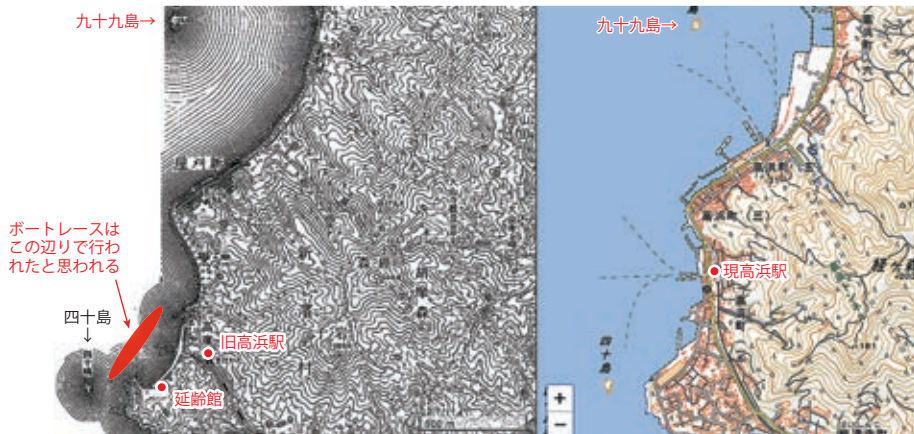
会場となった高浜沖は、風光明媚な名勝地で、旧高浜駅近くの棧橋前をスタートし※2 延齢館下、小説『坊っちゃん』の「ターナー島」のモデルとなる四十島の手前で回航して戻る、往復800mのコースだった。

しかも、この日の校内競漕会には3中学対抗レースも組まれているとあって、地元松山や周辺郡部はもとより今治や西条からも応援団や見物人が押し寄せ賑わった。

午後からのレースは、宇中と西条中が交互に2度、松中の第一選手（一重）と第二選手（二重）に挑んでいく形になった。結果は松中の4連勝。勝敗によっては、宇中と西条中の対戦も組まれたかもしれないが、両校とも※3 松中に連敗して終わった。

1903年大日本帝国陸地測量部地形図

1999年国土院地形図



『論考 応援歌「思へば過ぎし」の成立をめぐる』より この地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(©谷 謙二) により作成



ボートレースは、このように行われたのであろうか
「坂の上の雲ミュージアム 地図からどる松山の風景（明治・大正）」より
『論考 応援歌「思へば過ぎし」の成立をめぐる』

応援歌「思へば過ぎし」誕生

3 中学対抗競漕会で惨敗した
宇中選手団は松山の宿にもどる
汽車の中で、歓喜して凱歌を合
唱する松中生徒や応援団を横目
に悲嘆にくれた。

だが、そんな宇中選手の中で
校友会文芸部の委員もつとめて
いた本田正一（宇中4期）は、
この悔しさを歌にしようと思案
にふけていた。

翌日の船の中で練り上げた起
承転結の詞の構想は、過ぎ去っ
た高浜沖レースから1番を起こ
し、2番・3番は敗退の悲歌に
し、4番・5番に故事（当時、
日清戦後の三国干渉以後、宿
敵ロシアに対して※1）「臥薪嘗胆」
が叫ばれていた）を挿入しつつ、
自身の心境と覚悟を重ねること
だった。そして、6番以降が今
後のことで、やや長い結びとな
る。7番・8番の猛暑・極寒で
の試練を挟む6番と9番で、「四
百の健男児」に「人に遅れて恥
かくな」と重ねて檄を飛ばし完
成させた。

メロディーは※2 第一高等学校（一
高、東大教養学部などの前身）の寮
歌「思へば遠し神の御代」、あるいはそ
の原曲である※3 大捷軍歌「海城の逆
撃」の譜を借用した。

帰校後、一気呵成に書き上げたと言
われるこの応援歌の作詞者本田は当時、
中学4年（現在の高校1年）だったか、

※1 「いつか必ず果たすと誓った目的」のために長い間、辛苦に耐えながら努力することを意味する故事成語である
※2 この寮歌と軍歌は同じメロディーで、本田がどちらを借用したかは不明だが、当時、寮歌の方はこの軍歌を現譜とする口伝であったことから、応援歌「思へば過ぎし」の元譜も大捷軍歌「海城の逆撃」であるといえる

※3 山田源一郎が編集した全7編の軍歌集



本田正一

高浜沖惨敗の翌年、明治35（1900

永眠している。

28歳の若さで

発して中退。

が、病気が再

るが、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

が、病気が再

発して中退。

「思へば過ぎし」（原詞として伝承されている歌詞）
一、思へば過ぎし夏の末
高浜沖に催せる
二、ボートレースの其折に
※ チャンピオンフラグは勝山に
三、いかに南豫の霸王とて
誇りし我れも甲斐なしや
四、昔越王勾践は
月や花には目もくれで
五、努め励みし甲斐ありて
山より高き其譽
六、あゝ起て四百の健男児
人に遅れて恥かくな
七、よしや炎熱赫赫と
オールを鋭と心得て
八、よしや寒風凜烈と
オールを鋭と心得て
九、起て起て四百の健男児
人に遅れて恥かくな
伊豫の小富士の眺めある
松山宇和島西条の
いとも名譽の光ある
あわれ二度握られぬ
思へばここに幾年か
あわれ無念の血の涙
受けし恥辱を雪がんと
薪に伏しつ胆をなめ
やがて来にけり会稽の
幾千代ふるも残るなり
起つべき時は此時よ
熱血あふるる健男児
金石とかす夏の日も
鍛へや鍛へ此の腕を
流水凍る冬の日も
鍛へに鍛へ此の腕を
起つべき時は此の時よ
熱涙あふるる健男児

※現在は、「チャンピオンフラグ」と歌われている。

2）年、汚名返上の好機が訪
れた。第2回対抗競漕会の開
催が決定したのだ。期日は10
月21日。

今度は榊崎での宇中の第3
回競漕会に松中クルーを招い
ての決戦である。このレース
がどのようにして決まったか
は定かでないが、西条中が参
加していないことから、宇中
から松中に再開を強く求めて
実現されたのかもしれない。

宇中は、この日に備えて、
広く上級生の中から8人を選
抜し、夏休みに入ると松中卒
で第三高等学校（二三高、京
都大学の前身）端艇部選手の
白石慶太郎から指導を受け、
体力、精神面に加え、科学的
で本格的な漕法を習得した。
大会が間近に迫った10月13
日、宇中端艇部発会式が執り
行われた。まさに、出陣式を
兼ねた創部となった。

た。松中の応援団は僅かに10人余り。
昨年とは逆で、大観衆の期待と視線が
宇中クルーに注がれた。

銃声一発、白煙とともに両艇スター
トを切る。レースは予想通りの大接戦
となった。一漕ぎごとに僅かな優劣を
くり返しながら白波を蹴り立てて艇は
進んでいく。その均衡は終盤800m
を過ぎて崩れた。松中の僅かなオール
の乱れに乗じて宇中がラストスパート
をかけ、宇中が半艇身差をつけてゴー
ル。その瞬間、満場の歓声が沸きあが
り、九島にまで響き渡ったという。

こうなると、今度は松中が復讐戦を
挑む番である。校長会で半ば思いつき
で始まった対抗競漕会だったが、こう
なると恒例化するしかない。

翌年の明治36（1903）年、3回
目となる対抗競漕会が高浜沖で開催さ
れたが、宇中が5艇身差で圧勝した。
ところが、その翌年、榊崎沖で予定
されていた対抗競漕会が急きよ中止さ
れた。結局、宇中は初戦敗退後、2連
勝のまま、その後も※3 再開されるこ
とはなかった。



■応援歌
「思へば過ぎし」



■宇東高体育祭
「思へば過ぎし」

2012年の宇東高校内ボートレース
100回記念大会では、※大石昌良さ
んが作詞、作曲して宇和島出身の
ミュージシャン「花れん」さんが
歌う「トビウオ」という素晴らしい
曲がつくられている。

※P2～3 参照

※3 昭和53（1978）年の松山東高等学校創立100周年記念ボートレース大会に宇中端艇部OBが招待され、松中端艇部OBとの対抗レースが実現した

「宇和島の年中行事」となった校内端艇競漕会

(ボートレース大会)



(写真上) 第16回校内端艇競漕会での4年生(大正9年5月30日)

(写真下) 九島岬で開催されている現在の校内ボートレース大会の様子
(令和5年7月4日)

明治期末の宇中の新入生は、上級生同乗の上、初歩から漕艇訓練を受け、ボートは「校技」と見なされるようになっていた。加えて、大正から昭和初期にかけての校内端艇競漕会は一学校行事の枠を超えて「宇和島の年中行事」となっていた。

競漕会の当日は、早朝から町村民が樺崎に殺到して海岸は人で埋まり、海上に防波堤のように並んだ※1団平船の上までも人だかりで沸き立ち、停泊中の汽船が汽笛を鳴らす中、艶やかに着飾った女性たちも和船に乗って観戦した。また、同時に行われた来賓競漕には大阪朝日新聞社寄贈の真紅の大優勝旗があり、青年団、会社、官公庁まで



第24回校内端艇競漕会の樺崎の様子(昭和3年6月3日)

が出漕した。昭和に入ると午前到校友会各部(剣道、柔道、相撲、庭球、山岳など)と同郷会(鬼北、西宇和、東宇和、城南、城東、寄宿など)のレースが組まれ競漕会は日没まで行われた。同大会は現在では、「校内ボートレース大会」と名を変え、例年7月に九島岬の海岸で開催され、昨年で111回を数える。このように明治期より続く校内ボートレースは全国的にも極めて珍しく、まさに宇東高の歴史と伝統の象徴と言える貴重な学校行事だ。

※1) 幅が広く底を平たく頑丈につくった和船で重量物の近距離輸送に用いられていた

樺崎での競漕会の盛り上がりとともに宇中端艇部クルーの技量も充実していった。大正10(1921)年の全国中等学校優勝競漕会(琵琶湖全国大会)に初出場し、手ごたえを得ると、同13年に宇中の校医になった金成鉄夫が端艇部の指導を引き受けてくれたことで、更に力をつけていった。金成は、京都帝国大学医学科の元漕艇選手で固定席艇漕法の権威者として知られていた。宇中念願の全国大会初優勝は、その翌年、大正14(1925)年8月2日のことである。金成も同行する万全の体制で臨んだ第23回琵琶湖全国大会決勝戦は、2位の丸亀中に5艇身の差をつける圧倒的な強さを見せつけての初優勝だった。



第23回琵琶湖全国大会優勝記念写真(大正14年8月3日 長等神社にて)

宇中の全国優勝が相乗効果を生んだ。同年、隅田川で開催された第1回全日本選手権競漕大会で大浦青年団が宇和島代表として出漕し優勝した。更に翌年の第2回大会には新田青年団が同じく優勝し、宇和島の青年団が連覇を成し遂げている。

このように、大正期末には、宇中の校内端艇競漕会の盛り上がりとともに、宇中に加え青年団クルーの競漕技量を全国トップレベルへと昇華させたのである。

しかし、「昭和の初めは、混濁の時代であった」と応援歌の歌碑に刻まれているように、宇中の再度の全国優勝は遠のいた。

昭和6(1931)年の夏のことである。連日猛練習に励む宇中クルーの願いに添えて、宇中端艇部にもう一つの応援歌が生まれた。宇中3代目の※2配属将校、徳本光信の作詞による「佐田の岬」である。

応援歌「佐田の岬」

作詞 徳本光信

一、佐田の岬に沈みゆく

燃ゆる夕日を背に浴びて

夕靄こむる宇和島の

紺碧の海音立てて

漕ぐやオールの高く

鉄腕なるボートマン

■応援歌「佐田の岬」

※誌面の都合で1番だけ紹介する



※2) 大正14(1925)年公布の陸軍現役将校学校配属令により、全国の中学校以上の学校に配置された旧日本陸軍の現役将校。学校での軍事教練の指導教官である

「競漕王国宇和島」の復活

昭和16（1941）年7月、突如其如中に悲報が届いた。文部省が非常時を理由にスポーツの全国的催しを禁止したため、全国大会が中止となったのである。これで、再度の全国優勝は幻となった。さらに、同年に勃発した太平洋戦争は、部活動のみならず学校生活をも奪い去っていく。

昭和19（1944）年になると、上級生から順に軍需工場などに動員され、恒例の校内端艇競漕会も実施できなくなった。

そして翌年、昭和20（1945）年の7月、空襲により宇中の※1フィックス全6艇が艇庫もろとも灰燼に帰したのである。

終戦直後、「6・3・3・4制」の新学制が発足し、旧制の宇中は第一高等学校を経て宇東高に移行した。しかし、端艇部（ボート部）の再建は遅れた。そもそも、艇も艇庫も皆無というゼロからの再出発だった。

そうした中で、宇中端艇部OBの大塚栄治郎（26期）は、※2宇和島漕艇連盟（以下…連盟）の立ち上げに動いていた。大塚は全国初優勝のクルーの一人で、宇中の全国優勝の頃は全市を挙げての熱狂的なボート熱があり、大浦・新田青年団の全国優勝へと繋がった経緯から、宇和島市民のボート熱の高揚が端艇部隆盛の早道であると確信していた。彼の意志は後輩である三原卓蔵（27期）や藤田定吉（28期）に引継がれて、同25（1950）年の創立と

※1) 座席が固定されたローイングボートで、和船を改造した日本オリジナルの艇で、500kgほどある頑丈な大型艇。クルーは7人（漕手6人、舵手1人）
※2) 大半が宇中端艇部OBで組織された（会長：宮本吉太郎、副会長：三原卓蔵、新津三郎）



新艇庫前に係留された新艇「雁」（左）と「白鳩」（右）

なった。
連盟の事業の一番は、寄附および募金活動。のちには相当の額が集まり、社会人クルーの育成に加え、宇東高ボート部を支援する余裕もできた。その面では、同部の後援会的役割を果たしたと言える。
宇東高が待望のフィックス新艇2艇（「白鳩」・「雁」）を獲得したのは、連盟創立2年目の昭和26（1951）年のことで、早速同年11月25日には、樺崎での校内端艇競漕会（校内ボートレース大会）が復活している。宇東高ボート部の全国初優勝は、その翌年、昭和27（1952）年8月17日、全日本高校漕艇選手権大会（琵琶湖全国高校競漕大会）においてのことである。
このようにして完全復活を遂げた宇東高ボート部のその後の快進撃と、宇

東高に永久保存となったフィックス大優勝旗などを象徴とする幾多の栄光の記録は、目を見張るばかりである。
ただし、もう一つ心に留めておきたいことがある。宇中・宇東高の「校技」ボートの伝統が、この小さな地方都市宇和島の人々によって支えられてきたという歴史上の事実である。
将来も、そのようにあつて欲しいという願いを込めて、宇東高ボート部後援会発行の記念誌『佐田の岬』から、次の一文をここに載せておきたい。

「勝ったのは金成先生のおかげだぞ」と異口同音、選手は確かめ合った。確かに、金成鉄夫のおかげで選手は、「果然練習に練習を重ね熟練に熟練を積み重ねていった※3（原尚）。その卓越した漕法の伝授なくして優勝はあり得なかった。

しかし、それだけではなかった。夏季休暇に帰省して指導にあたったOB、大浦で歓送迎会を催し、樺崎埠頭で激励し見送った青年団や校友、その保護者や有志市民、大阪で迎え盛大に歓迎し琵琶湖上に応援旗を翻した京阪神在住の応援団、これら幾多の人々の胸中は皆、選手が「今年こそは」と誓い合つた心と一致し協和していた。だからこそ選手の意気は高揚し、養われた「実力は自信を生み、自信は敵を呑み、競うて正々僥倖を願わず、堂々たる勝利を得るに至った（原尚）」のである。

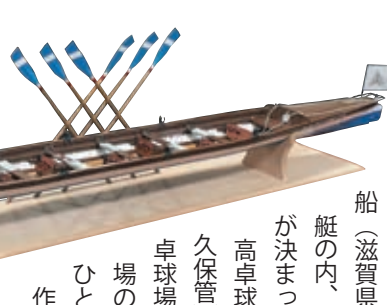
※3) 原尚（宇中12期）は当時の宇中端艇部々長で琵琶湖遠征クルーの引率教員。のちの宇東高初代校長である

フィックス艇「鬼ヶ城」



1のサイズで精巧に再現されている。
制作は、実物を建造した桑名造船があたり、10分の11月25日、同校でお披露目会が開催された。

制作は、実物を建造した桑名造船があたり、10分の11月25日、同校でお披露目会が開催された。



が決められた。以降、宇東高卓球場裏に保管（永久保管）されていたが、卓球場の解体、新卓球場の竣工が決まり、ひとまずレプリカを作ろうということになり、令和3（2021）年11月25日、同校でお披露目会が開催された。

フィックス艇は長年、競技艇として使用されていたが、昭和48（1973）年のインターハイ三重大会を最後に廃止された。そして、最後の優勝校である宇東高にその優勝旗が授与され、大切に保管されている。
同校では、昭和61（1986）年、創立90周年記念の一環で、昭和40（1965）年に桑名造船（滋賀県）で造られた3艇の内、「鬼ヶ城」の保管が決められた。以降、宇東高卓球場裏に保管（永久保管）されていたが、卓球場の解体、新卓球場の竣工が決まり、ひとまずレプリカを作ろうということになり、令和3（2021）年11月25日、同校でお披露目会が開催された。

※フィックス艇「鬼ヶ城」の現物（左の写真）は、現在、宇東高内の校史資料館横に保管され、レプリカは、宇東高本館に展示してある

水産課程のあった

宇和島南高等学校時代にボート部誕生

愛媛県立宇和島水産高等学校（以下…宇水高）の前身の愛媛県立水産学校（定員50名）は、昭和20（1945）年4月に漁業科のみ3年制の学校として創立され、昭和23（1948）年に愛媛県立水産高等学校に変更されるが、翌年の高等学校再編成に伴い、愛媛県立宇和島南高等学校（以下…宇南高）水産課程となる。そして、昭和30（1955）年、宇水高として独立する。

宇水高、創立50周年記念誌に掲載されている昭和30年の「宇和島南高校新聞」の記事によると、同年7月に宇和島樺崎コースで行われた県漕艇選手権大会に出場した女子ナックル、男子フィックスともに優勝し、8月に福島県で開催された日本漕艇選手権大会でも女子が3位、男子も5位入賞を果たしている。更に記事には、

「本校に端艇部が設置されたのは昨年4月のことで、女子クルーは本年度新設されて間もない頃のことであった。彼等は、五十年の伝統を有するボート王国宇和島の名に恥じないボートマンとなるべく、本年4月希望に燃えて入部した。全員新人であった。各選手とまだまだ夢中でオールを握りしめた。

——中略—— 彼らの中のある選手は語る私の浅い経験からいっても練習に勝るものは何もないと思う。相手が強いのは、それは私達以上に練習しているからだと思つて練習している。私達の練習のモットーとすることは、試合前、慌てて行う練習ではなく、少しず



この写真は、記念誌には「インターハイ3位」とだけキャプションがあるが、日本漕艇選手権のことなのかどうか不明



宇和島南高校新聞（昭和30年9月20日）

つでも僅かでも練習し体を鍛えておく」ということで、云わば砂を積み上げて富士を築くアリである」と紹介されている。



宇水高のボート部OBの佐々木瀧雄さんの「山の小屋」には、週2～3回、同校ボート部OB他大勢の仲間が集まり楽しいひと時を過ごされている（前列左から梶田光行さん、佐々木瀧雄さん、佐々木好高さん、後列左から、西村晃さん福田祐三さん、清家正之さん、山下光男さん）

宇水高の9期卒業でボート部OBの佐々木瀧雄さん（75歳）の山小屋にはボート部OBや仲間が集まりにいられていて、現役時代のお話が聞けた。

佐々木さんは入学当初、バレー部に入部していたが、何故か担任から「お前はボート部に入れ」と言われボート部に移った。

「当時は、他の部に移りたい言ったら、先輩から※1シワカレよったけん、私は先生から言われたもんやけん、何事もなくボート部に移れたんよ」

※1）叩かれる

生徒数が少ない宇水高では、当然ボート部員も少なく、フィックス艇で練習をすることもあったが、※2 ナックル艇が主だった。

佐々木さんが現役当時、ナックル艇で出場した県総体では僅差で宇東高に負けたが、国体予選では宇東高勝って県代表として国体に出場した。宇水高のナックル艇は佐々木さんが卒業後も4～5年は強かったという。

「国体と云えば、宇水高は実習船に乗らんといいんしょう。でも、いかに

国体と言つても実習と重なつたら他の者が出んといけんの、そしたら勝負にならん、参加するだけになるんよな」

当時の宇水高ボート部の練習は、学校横から出艇して、主に九島沖の海で練習していた。

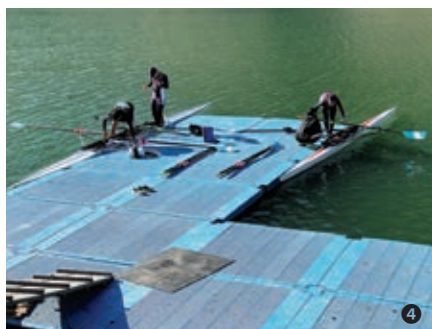
「今では、いい思い出やけど、フィックス艇で沖に出た時、たまに近くの灯台で女の子を乗せて漕いだりしよったな」と話してくれた。

以降も宇水高のボート部は少数精鋭ながら活動は続き、平成4年、吉田洋一教諭が宇水高ボート部の顧問になる。

※2）底の形が拳（ナックル）に似ていることから名付けられたボートの一種で、4人漕ぎ、舵手つきの規格艇で、競技普及のために考案された日本独自の艇

バスで1時間もかかる鹿野川ダムへ

なかなかボートには乗れない練習環境



①鹿野川ダムで練習する宇水高の選手たち ②鹿野川ダムにある共同の艇庫から台車に乗ったボートを運び出す宇東高の選手たち ③艇庫から出したボートを艇庫下のスロープでリギングと呼ばれる調整をする宇水高の選手 ④備え付けの棧橋から出艇する宇東高の選手 ⑤通常は黄丸のあたりから出艇するが、取材時は約20mほど水面が下がっていたので、練習後も急な斜面をボートを担いで艇庫まで行かなければならなかった

間近に海がある宇和島なので、ボートの練習環境としては恵まれていると思われる向きもあるかもしれないが、ボート競技（ローイング）は静水直線コースで競われるため、艇もそれを前提に設計されている（海用のボートや、海での新競技も生まれてはいるが大会自体はダム湖や湖で開催される）。そのため、宇東高、宇水高ともに近隣に適当な場所がないため、もっぱら鹿野川ダム（大洲市）で練習を行っている。

宇東高のボート部は、現在艇庫は宇和島市三浦に艇庫があり、夏場はコンディションが良ければ三浦湾内でボートを漕いで練習することもあるが、普段はエルゴと呼ばれるトレーニングマシンでの陸上トレーニングが中心で、週末の午前中、鹿野川ダムでボートに乗った練習を行っているという。

宇水高も宇東高とほぼ同じような状況だが、学校の横が海なので、コンディションが良ければ来村川河口でボートを漕ぐこともあるが、普段は週末に鹿野川ダムで練習をしている。

こうして、両校のボート部顧問の先生方は、マイクロバスに部員を乗せて往復で約2時間かけて鹿野川ダムまで出向いている。

昨年12月3日（日）に取材に伺った時は、9時過ぎには宇水高のボート部顧問、田中佑哉先生以下部員の皆さんは準備を始めていた。宇東高は、野村町からランニングをしていたということで10時過ぎに到着した。

鹿野川ダムは、少雨の影響でダム湖の水が例年になく少ない状態が続いている。宇東高のボート部顧問、谷口治義先生によると、例年に比べて水面が20m程低くなっているため、艇庫からボートを下ろすだけでも一苦労だ。

宇中創設当初、ボートが衰退した状況の中、初代校長の尾田信直は『校友会雑誌10号』（明治35（1902）年）の中で、「ボート競技は、教育的競技であって決して娯乐的競技ではない」「振作すべき士気は二つある。即ち※1）堪忍不撓の精神と※2）同心協力（かんじんふたう）の精神である」と説いて、校内ボートレース大会を再開させた。

近年、高等学校の部活動は指導者不足、少子化、部活動の時間等の課題に直面しているが、ボート部の運営は、それらに加え、高額なボートの確保、練習環境の確保や整備等々、人的、経済的な負担は、より大きい。

これらを支えているのが、顧問、保護者会、OB、後援会の方々の熱意と情熱だと今回の取材を通じて感じた。

※1）こらえてしのび、ひるまないこと ※2）心を一つにし、協力し合い、皆で団結して事にあたること

たに ぐち はる よし
宇和島東高等学校ボート部顧問 谷口治義

もともと、海や山といった自然を楽しむことが好きで、宇東高在学時も登山部を選んだ。当時は、部活動とは別にクラブ活動というのがあって、水の上の競技ということでボートを選択し、宇和島湾でフィックス艇などを漕いだ経験がある。

「本当は、大学では学術探検部に入りたいつもりだったのですが、気がついたらボート部に入部していた、という感じです。ただ、何もないところからボートを選ぶのは難しいと思うんですが、東高には校内ボートレース大会があり、歴史や伝統に培われたDNAみたいなものが在るんだと思います（私を含め宇東高同期で5人ほど大学からボートを始めています）。練習は、きつかったですが、監督がいなかったで自分たちで練習メニューを考えて、和気あいあいと楽しい部活でした。そうして大学時代に学んだことをベースにスポーツ系の資格も取ったりして、より科学的な見地からボートを見ることが出来、今の指導に活かされていると思います」

そして、教員2校目で宇東高に赴任し、ボート部の顧問になった。井手勝敏先生といっしょに顧問をつとめたことで多くを学び、今につながっているという。

さらに、「若かったのかもしれませんが、OBの河野藤夫さん（故人）の協力を得て、宇中時代（創部）からの部員名簿を作成しました。その中で、つくづく

歴史と伝統があるボート部を任されているのだと、身の引き締まる思いがしました」

その後、今治北高、松山北高でボート部の顧問をつとめ、宇東高には二度目の赴任となる。

「ボートの普段の練習や大会は鹿野川ダムや今治市の玉川ダムで行われるので、どこか他の場所や、他県のクルーとレースができれば楽しいですね。そのために全国大会を目指す。外の世界を体験することで競技の面白さにつながるのではないかと思います。



鹿野川ダムで指導する谷口先生

更にな（世界）を目指してチャレンジする部員が現れてきたら嬉しいですね（モットー…「強くなることは楽しくなること」）。部員の可能性を広げることが役目かなと思っています。ただ、様々な価値観を持った部員がいるので、それぞれに合った指導を心がけています」

さらに部活動との関わりについて聞くと「部活動は、部員の3年間を見通した指導を考えないといけないので、あまり休む暇はないですね。それでも続けられているのは、「勝って喜びを感じてもらいたい。チャンスをつくってあげたい」という気持ちが強いからだと思っています。そして、何より部員たちが楽しそうに活動し、一人でも多く、ボートをやって良かったと思ってくれば、それが私のモチベーションにつながります」

現在、宇東高のボート部は、平日はマシンを使った陸上トレーニングをし、週末に鹿野川ダムまで行ってボートを漕いでいるが、ボート部の活動は、野球やサッカーのようなメジャーなスポーツのように、子どもたちの目に触れる機会には皆無に等しい。それゆえ、ボートの場合、競技を始めたとしてもほぼ100%高校からになる。

「いかにボートに興味をもってもらって引き寄せるかが大

きな課題です。なので、例えば、宇和島湾でちびっ子を集めてボート競技に触れる機会を増し、その延長で「宇和島の高校に入ったらボート部に入ろう」というようにならないと、近い将来、部の存続が危ぶまれる事態になりかねないような気がします。宇和島とボートの関係はこれからも残していかなければと思っています」

部の維持には、選手の確保はもちろんだが、指導者や環境整備も重要だ。最後に今後について話を向けると、「昨年定年を迎え、再任用1年目なんですけど、いつまでも単身赴任するわけにもいきませんしね」と笑う。



〈谷口治義プロフィール〉

1963年生まれ、鬼北町出身、松山市在住。地理歴史・公民科の科目を担当する

大分県出身の吉田先生は、大分県立海洋科学高等学校から大学へ進み卒業後は、ニチロ（現在のマルハニチロ）に就職し船に乗っていたが、高校、大学とやっていたラグビーを指導したいという思いを断ち切れず、水産高校の教員になろうと一念発起する。地元大分県では採用がなく、愛媛県で採用があるというので、平成3年、宇和島水産高等学校の非常勤講師となり、翌年、教員となる。

早速、ラグビー部創部を校長や教頭に相談して生徒へ働きかけるが、入部を希望する生徒がなく、結局、全く興味もなかったボート部の顧問を引き受けることになった。

顧問就任直後、宇東高のボート部顧問の井手勝敏先生からアジア選手権大会の要綱を頂いた事から、※1 日本漕艇協会の事を知る。

「宇和島市内の図書館や本屋を探してもボートに関する本が全くないので、協会に連絡してボートに関する本を全部送ってもらって、勉強しました」

そこに、山内悟が現れる。彼は、平成6（1994）年、ミュンヘンで開催された世界ジュニア選手権大会の日本代表に選出（宇東高の徳岡剛とのダブルスカルで出場）されるなど、全国区の活躍をみせた。

「技術的な指導は、宇和島東の監督さんに随分助けて頂きましたが、山内が予選2週間前に足の指を骨折して、もうダメかと思いましたが、どうにか間

※1）現：日本ローイング協会



早朝練習の時は、ここから生徒を見守るという体育館横の出艇場所にて

に合って日本代表に選ばれたんです。その時使用したボートは、当時、顧問だった遠矢先生が彼の為にポケットマネーで購入した高価な米国製でした」

そして、大きな転機となったのが平成13（2001）年の「えひめ丸事故」だ。学校全体が騒然とするなか、自分に何が出来るか自問した。

「当時、世界大会を目指している子がいて、その子も同級生を事故で亡くしたりしていたので、関わっているボートで学校を元気にしたい、目標をもってやっている生徒を応援したい、何が何でも勝たせたいと強く思いました」

結果、この年の世界ジュニア選手権大会には溝辺達也と篠原潤一の2名が出場するという快挙をみせた。

「山内がキッカケだとは思いますが、インターハイより世界へというイメージで指導してきました。もしかして、私がボートをやっていたら、インターハイを目指した指導をしていたかもしれないが、ラグビーをやっていたので世界を目指す指導に繋がったんだと思います。何より、私自身が楽しいっていうのもあります。そして、※2 長い距離を漕いだほうが有酸素能力や持久力、技術的を向上するんじゃないかというのが私の持論で、更に大学や社会人は2千メートルが主流なので、高校を卒業してから競技を続ける場合、メリットがあると思っています」

不思議な縁で30有余年ボートと関わってきた吉田先生だが、常に『ボート未経験者』というコンプレックスを抱えてきたという。それを補う転機となったのが、国体出場選手※3 選抜制の導入だった。県で選抜した選手の合宿を行ったり、プロコーチを招いてアドバイスしてもらったり、監督向けに講演会があったりして、人的交流や多くの情報を手に入れることができ、指

※2）インターハイ、国体は1000mのコースで競うが、U19の予選となる全日本ローイング選手権大会は2000mのコースで競われる

※3）以前は学校単位で出場していたが、それでは勝てないということで、今では県単位で優秀な選手を選抜して出場している



昨年、北海道で開催された令和5年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会の男子ダブルスカルに出場した宇和島水産高等学校の浅井樹心、梶原勤心ペアが全国第2位の成績を残している。

導者としての自信に繋がったという。今後は、引き続き再任用教員として宇水高で勤務し、ボート部副顧問としてボート部にも関わっていく。

「給料も下がりますが、部活動の方はボランティアで頑張ります」と笑う。

〈吉田洋一プロフィール〉

1963年生まれ 大分県佐伯市出身 平成4（1992）年から県立宇和島水産高等学校勤務 令和5（2023）年春、定年退職し、現在は再任用教育職員として同校勤務 高体連専門委員 愛媛県選抜クルー監督 同校ボート部監督を30年余り勤める 愛媛県高体連2012年度 最優秀スポーツ指導者賞受賞

旧制宇和島中学・宇和島東高等学校ボート部 全国制覇一覽表（令和5年現在）

大会名 / 開催年 / 種 目 / クルーメンバー			大会名 / 開催年 / 種 目 / クルーメンバー		
第22回全国中学校端艇競漕大会	大正13年	フィックス第2選手	第49回全日本高校選手権競漕大会	平成13年	
兵頭晴道・菊池繁良・越智通忠・清家利雄・山内均・川崎興作・田中匡			此下和太郎・山崎翔吾・矢野優作・山口龍大・脇田政夫		男子舵付きクオドル
第23回全国中学校端艇競漕大会	大正14年	フィックス	宮本安子・清家由香里・毛利沙矢香・奥平梢・宮本早矢佳		女子舵付きクオドル
兵頭晴道・中尾俊夫・越智通忠・増田静磨・大塚栄治郎・清家利雄・山内均			第56回国民体育大会	平成13年	
全日本高等学校漕艇選手権大会	昭和27年	フィックス	宮本安子・奥平梢・毛利沙矢香・清家由香里・宮本早矢佳		女子舵付きクオドル
菊池照夫・栗田正直・小畑明宏・山本暢・酒井康司・毛山直良・宮田健二			加藤和美		女子シングルスカル
第15回国民体育大会	昭和35年	フィックス	第42回全日本新人選手権大会	平成13年	男子ダブルスカル
土居光夫・今津将隆・土居靖弘・梶田美樹・薬師寺勲・武田信征・大古憲輔			船田憲司・溝辺達也(宇和島水産)		
第19回国民体育大会	昭和39年	フィックス	第13回全国高校選抜競漕大会	平成14年	女子舵付きクオドル
池田宏美・松田富佐夫・黒田淳一・翠簾屋正興・鹿島晃・田中吉善・石橋清治			宮本安子・那須幸恵・武田愛・清家由香里・山口美沙		
第13回全国高校漕艇選手権大会	昭和40年	フィックス	第55回朝日レガッタ	平成14年	
池田宏美・松田富佐夫・黒田淳一・小西伝次・鹿島晃・枇杷田恵三・西崎宗雄			松下林太郎・宮内裕太・光岡良樹・末廣聖也・山口龍大		男子舵付きクオドル
第20回国民体育大会	昭和40年	フィックス	宮本安子・奥平梢・那須幸恵・清家由香里・青木由貴		女子舵付きクオドル
池田宏美・松田富佐夫・黒田淳一・小西伝次・鹿島晃・枇杷田恵三・西崎宗雄			第50回全日本高校選手権競漕大会	平成14年	女子舵付きクオドル
第14回全国高校漕艇選手権大会	昭和41年	女子ナックルフォア	宮本安子・那須幸恵・清家由香里・高山南・久岡香津加		
沼田美子・赤松笑子・鈴木京子・木村恵美子・梶原美子			第57回国民体育大会	平成14年	
第15回全国高校漕艇選手権大会	昭和42年	フィックス	松下林太郎・末廣聖也・光岡良樹・宮内裕太・山口龍大		男子舵付きクオドル
中川和俊・土居則男・河野哲・枇杷田恵三・高橋進・益田繁樹・佐藤貴邦			宮本安子・奥平梢・毛利沙矢香・清家由香里・宮本早矢佳		女子舵付きクオドル
第22回国民体育大会	昭和42年	フィックス	第56回朝日レガッタ	平成15年	女子舵付きクオドル
中川和俊・土居則男・河野哲・枇杷田恵三・高橋進・益田繁樹・佐藤貴邦			丸川有子・高山南・山口美沙・那須幸恵・久岡香津加		
第26回国民体育大会	昭和46年	男子ナックルフォア	第57回朝日レガッタ	平成16年	
大浩哉・吉見保男・福田貴司・川井洋文・萩野行敏			片山めぐみ・山下慶子・小西志歩・末廣あすみ・山瀬布貴		女子舵付きクオドル
第26回朝日レガッタ	昭和48年	男子ナックルフォア	今西香・増田有香		女子ダブルスカル
宮出宗一・川井義郎・川口義光・福岡初彦・真田寛慶			第52回全日本高校選手権競漕大会	平成16年	女子舵付きクオドル
第21回全国高校漕艇選手権大会	昭和48年	フィックス(最終)	片山めぐみ・小西志歩・山下慶子・末廣あすみ・増田有香		
清家政洋・竹田源太郎・橋本弘彰・井伊佳彦・西村祐一・。川口篤夫・松田伝二			第59回国民体育大会	平成16年	女子舵付きクオドル
第31回朝日レガッタ	昭和53年	男子ナックルフォア	片山めぐみ・小西志歩・山下慶子・末廣あすみ・増田有香		
山口和彦・戸田武・居村豊喜・宮崎英樹・、木下聡			第16回全国高校選抜ボート大会	平成17年	女子舵付きクオドル
第39回朝日レガッタ	昭和61年	男子シングルスカル	片山めぐみ・小西志歩・末廣あすみ・山本有重・山瀬布貴		
山下進			第58回朝日レガッタ	平成17年	女子舵付きクオドル
第34回全国高校漕艇選手権大会	昭和61年	男子シングルスカル	片山めぐみ・小西志歩・末廣あすみ・山本有重・山瀬布貴		
山下進			第3回全日本ジュニア選手権大会	平成17年	女子シングルスカル
第41回朝日レガッタ	昭和63年	男子シングルスカル	末廣あすみ		
中 一			第60回国民体育大会	平成17年	女子舵付きクオドル
第44回国民体育大会	平成元年	男子シングルスカル	片山めぐみ・小西志歩・末廣あすみ・山本有重・山瀬布貴		
藤井基晴			第17回全国高校選抜ボート大会	平成18年	女子舵付きクオドル
第1回全国高校選抜競漕大会	平成2年	男子シングルスカル	和田唯・谷口春香・安藤麻奈美・山本有重・金谷千寿		
藤井基晴			第4回全日本ジュニア選手権大会	平成18年	女子シングルスカル
第43回朝日レガッタ	平成2年	男子シングルスカル	山本有重		
藤井基晴			第63回国民体育大会	平成20年	少年男子ダブルスカル
第4回全国高校選抜競漕大会	平成5年	男子ダブルスカル	山田広之(愛媛選抜)		
永井貞秋・徳岡剛			第65回国民体育大会	平成22年	
第5回全国高校選抜競漕大会	平成6年	男子ダブルスカル	木村良太郎 他4名		男子舵付きクオドル
徳岡剛・入山知起			岩本佳寿美(補漕)		女子舵付きクオドル
第10回全国高校選抜競漕大会	平成11年		第59回全日本高校選手権競漕大会	平成23年	男子ダブルスカル
光岡絃輔・小川祐司		男子ダブルスカル	木村良太郎・是澤祐輔		
三好さやか・船田真奈・久岡梨佳・久保早代・山下雅紗子		女子舵付きフォア	第66回国民体育大会	平成23年	男子舵付きクオドル
第52回朝日レガッタ	平成11年	女子舵付きフォア	木村良太郎・是澤祐輔(愛媛選抜)		
三好さやか・船田真奈・久岡梨佳・久保早代・山下雅紗子			第67回国民体育大会	平成24年	
第11回全国高校選抜競漕大会	平成12年		是澤祐輔(愛媛選抜)		男子舵付きクオドル
山本久斗・清水勝史・今城倫哉・毛利良太・小川祐司		男子舵付きフォア	山田加奈(愛媛選抜)		女子舵付きクオドル
三好さやか・宮下早矢佳・久岡梨佳・久保早代・毛利沙矢香		女子舵付きフォア	第68回国民体育大会	平成25年	女子舵付きクオドル
第53回朝日レガッタ	平成12年	女子ダブルスカル	山田加奈(愛媛選抜)		
久岡梨佳・加藤和美			第70回記念大会朝日レガッタ	平成29年	女子舵付きクオドル
第55回国民体育大会	平成12年		谷口智佳子・梶原まどか		
山本久斗・山崎翔吾・今城倫哉・清水勝史・・毛利良太		男子舵付きフォア	第72回国民体育大会	平成29年	
三好さやか・加藤和美・久岡梨佳・久保早代・毛利沙矢香		女子舵付きフォア	岡本康聖(愛媛選抜)		少年男子舵付きクオドル
濱中康平・(今治南)・船田憲司		男子ダブルスカル	第73回国民体育大会	平成30年	
第12回全国高校選抜競漕大会	平成13年		岡本康聖(愛媛選抜)		少年男子舵付きクオドル
三好洋介・船田憲司・山口龍大・矢野優作・脇田政夫		男子舵付きクオドル	第34回全校高等学校選抜ボート大会/JOCジュニアオリンピック大会		令和5年
宮本安子・加藤和美・毛利沙矢香・奥平梢・清家由香里		女子舵付きクオドル	兵頭佳乃・宝本和花		女子ダブルスカル
第54回朝日レガッタ	平成13年	女子舵付きクオドル	全国高等学校総合体育大会/第71回全日本高等学校選手権競漕大会		令和5年
宮本安子・清家由香里・加藤和美・奥平梢・毛利沙矢香			兵頭佳乃・宝本和花		女子ダブルスカル

宇和島水産高等学校ボート部 全国大会等出場一覧表（令和5年現在）

大会名 / 開催年 / 種 目 / クルーメンバー			大会名 / 開催年 / 種 目 / クルーメンバー		
第47回朝日レガッタ	平成6年	男子シングルスカル	第54回中日本レガッタ	平成21年	男子ダブルスカル
山内 悟	順位	3位	酒井達紀・松岡 真	順位	2位
1994世界ジュニア選手権大会	平成6年	男子ダブルスカル	全国高等学校総合体育大会	平成21年	男子ダブルスカル
山内 悟・徳岡 剛(宇和島東高)	順位	15位	酒井達紀・松岡 真	順位	1位
第49回国民体育大会	平成6年	男子ダブルスカル	第64回国民体育大会	平成21年	男子舵手つきクオドルブル
山内 悟・徳岡 剛(宇和島東高)	順位	3位	酒井達紀・寺坂和満 他3名(愛媛選抜)	順位	7位
第8回全国高等学校選抜大会	平成9年	男子ダブルスカル	第21回全国高等学校選抜大会	平成22年	女子シングルスカル
兵頭幸祐・田中良征	順位	準決勝進出	中川ひかり	順位	5位
第45回全国高等学校選手権大会	平成9年	男子ダブルスカル	第21回全国高等学校選抜大会	平成22年	男子ダブルスカル
尾崎正三・兵頭幸祐	順位	準決勝進出	横山雄一朗・松本寛樹	順位	準決勝進出
第38回全日本新人選手権大会	平成9年	男子シングルスカル	2010アジアジュニア選手権大会	平成22年	女子シングルスカル
田中良征	順位	7位	中川ひかり	順位	2位
第9回全国高等学校選抜大会	平成9年	男子シングルスカル	全国高等学校総合体育大会	平成22年	女子シングルスカル
田中良征	順位	6位	中川ひかり	順位	3位
第41回全日本新人選手権大会	平成12年	男子シングルスカル	第65回国民体育大会	平成22年	女子舵手つきクオドルブル
溝辺達也	順位	4位	中川ひかり 他4名(愛媛選抜)	順位	1位
第12回全国高等学校選抜大会	平成13年	男子シングルスカル	第65回国民体育大会	平成22年	男子舵手つきクオドルブル
溝辺達也	順位	2位	寺坂和満・松岡 真 他2名(愛媛選抜)	順位	1位
第54回朝日レガッタ	平成13年	男子ダブルスカル	第51回全日本新人選手権大会	平成22年	女子舵手つきクオドルブル
溝辺達也・船田憲司(宇和島東高)	順位	1位	中川ひかり・横山 榮 他3名	順位	5位
第23回全日本軽量級選手権大会	平成13年	男子ダブルスカル	第66回国民体育大会	平成23年	男子ダブルスカル
溝辺達也・船田憲司(宇和島東高)	順位	2位	西川純大・岡崎勝大(愛媛選抜)	順位	準決勝進出
2001世界ジュニア選手権大会	平成13年	男子舵手なしクオドルブル	第23回全国高等学校選抜大会	平成24年	男子ダブルスカル
溝辺達也 他3名	順位	9位	岡崎勝大・佐々木俊哉	順位	7位
2001世界ジュニア選手権大会	平成13年	男子ダブルスカル	第67回国民体育大会	平成24年	男子舵手つきクオドルブル
篠原潤一 他1名	順位	17位	西川純大・岡崎勝大 他3名(愛媛選抜)	順位	1位
第42回全日本新人選手権大会	平成13年	男子ダブルスカル	第25回全国高等学校選抜大会	平成26年	女子シングルスカル
溝辺達也・船田憲司(宇和島東高)	順位	1位	田中麻優	順位	準決勝進出
第55回朝日レガッタ	平成14年	男子シングルスカル	第25回全国高等学校選抜大会	平成26年	男子シングルスカル
篠原潤一	順位	1位	西蔭岳展	順位	出場
2002世界ジュニア選手権大会	平成14年	男子シングルスカル	第59回中日本レガッタ	平成26年	女子ダブルスカル
篠原潤一	順位	22位	田中麻優・村越(今治西高)	順位	1位
第57回国民体育大会	平成14年	男子シングルスカル	全国高等学校総合体育大会	平成26年	女子シングルスカル
篠原潤一	順位	1位	田中麻優	順位	準々決勝進出
第43回全日本新人選手権大会	平成14年	男子シングルスカル	全国高等学校総合体育大会	平成27年	男子シングルスカル
篠原潤一	順位	2位	佐々木海展	順位	準々決勝進出
第15回全国高等学校選抜大会	平成15年	男子舵手つきクオドルブル	第26回全国高等学校選抜大会	平成27年	女子シングルスカル
清家吉亮・池田恒平・田中真誠・有馬広樹・三好貴之	順位	準決勝進出	田中麻優	順位	5位
全国高等学校総合体育大会	平成16年	男子舵手つきクオドルブル	第26回全国高等学校選抜大会	平成27年	男子シングルスカル
清家吉亮・池田恒平・松井 昶・田中真誠・有馬広樹	順位	5位	西蔭岳展	順位	出場
第60回国民体育大会	平成17年	男子シングルスカル	2015世界ジュニア選手権大会	平成27年	女子舵手つきクオドルブル
有馬広樹	順位	準決勝進出	田中麻優 他3名	順位	12位
第17回全国高等学校選抜大会	平成18年	男子ダブルスカル	第70回国民体育大会	平成27年	女子舵手つきクオドルブル
西村光生・宇治野克希	順位	3位	田中麻優 他4名(愛媛選抜)	順位	準決勝進出
第17回全国高等学校選抜大会	平成18年	女子ダブルスカル	第70回国民体育大会	平成27年	男子シングルスカル
畠山千晴・畑部翔架	順位	準決勝進出	西蔭岳展(愛媛選抜)	順位	準決勝進出
第61回国民体育大会	平成18年	男子シングルスカル	第30回全国高等学校選抜大会	令和3年	男子ダブルスカル
西村光生	順位	7位	前田 颯・薬師神尚哉	順位	12位
第47回全日本新人選手権大会	平成18年	男子シングルスカル	全国高等学校総合体育大会	令和3年	男子ダブルスカル
西村光生	順位	4位	矢野翔英・赤松桜玖	順位	4位
第60回朝日レガッタ	平成19年	男子ダブルスカル	全国高等学校総合体育大会	令和4年	男子ダブルスカル
西村光生・小倉(伏見工業高)	順位	1位	赤松桜玖・浅井樹心	順位	4位
第29回全日本軽量級選手権大会	平成19年	男子ダブルスカル	第77回国民体育大会	令和4年	男子舵手つきクオドルブル
西村光生・出原(小浜水産高)	順位	2位	赤松桜玖 他4名(愛媛選抜)	順位	2位
2007世界ジュニア選手権大会	平成19年	男子舵手なしクオドルブル	第34回全国高等学校選抜ボート大会	令和5年	男子シングルスカル
西村光生	順位	9位	浅井樹心	順位	5位
第62回国民体育大会	平成19年	男子ダブルスカル	全国高等学校総合体育大会	令和5年	男子ダブルスカル
西村光生・奥島(今治工業高)(愛媛選抜)	順位	4位	梶原勲心・浅井樹心	順位	2位
2007アジアジュニア選手権大会	平成19年	男子ダブルスカル	特別国民体育大会	令和5年	男子舵手つきクオドルブル
西村光生・三村(関西西高)	順位	1位	浅井樹心 他4名(愛媛選抜)	順位	5位
第19回全国高等学校選抜大会	平成20年	男子ダブルスカル	特別国民体育大会	令和5年	男子ダブルスカル
酒井達紀・藤堂領融	順位	出場	梶原勲心 他1名(愛媛選抜)	順位	4位
第20回全国高等学校選抜大会	平成21年	男子ダブルスカル			
寺坂和満・酒井達紀・松岡 真・横山雄一郎・石城戸琢磨	順位	5位			

体験型防災プログラム

うわじま防災 BOX

■日 時 2月24日(土) 10:00～14:00

■会 場 コスモスホール三間

宇和島市三間町迫目 138



体験することで防災・減災に興味を持ってもらい、今後起こり得る南海トラフ地震や近年おきている災害に対して落ち着いて行動できる体制を作り、危機感を持ってもらい、備える力を養う。

- 車中泊避難注意喚起と車両展示
 - 防災工作教室
 - ダム模型を使った治水対策の体験学習
 - 歩きにくさ体験
 - 重機に乗って写真撮影
 - 防災グッズ展示
 - VR体験
- ※予告なく内容の変更をすることもあります

主 催：特定非営利活動法人宇和島 NPO センター

連絡先：0895-49-3563

参加団体／自衛隊、愛媛県南予地方局、浅田グループ、ETP（愛媛トヨタ・愛媛トヨペット）、三間女性消防団、安心堂西条営業所、うわじまカエルキャラバン協議会

SUM UP ME. 奥田 祐子展

絵、写真、コーヒー。はじめての個展を、故郷の宇和島で開催できることとなりました。期間中はギャラリーでコーヒーの販売もいたします。



■会 期 2月4日(日)～8日(木)

■時 間 10:00～17:00 (最終日は15:00まで)

■会 場 アトリエぱれっと

宇和島市伊吹町1083-1-2F ☎ 090-7784-4703

舞踊交響詩
古事記

一粒萬倍
A SEED

愛媛の女神と五穀豊穡の物語
作・演出 松浦 靖

■主催／一般社団法人一粒萬倍制作委員会

■共同主催／公益財団法人愛媛県文化振興財団 愛媛新聞社

■後援／愛媛県 愛媛県教育委員会 愛媛県文化協会 松山市 松山市教育委員会 松山商工会議所 文化庁・劇場 音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業

えひめ南予きずな博でシンボルイベントとして、宇和島市・吉田町で上演された「一粒萬倍」が、2024年1月、国内トップアーティスト、台湾、そして愛媛のアーティストの共演の中、更にスケールアップして上演されます。

愛媛県県民文化会館
メインホール2024年
1月20日(土)昼・開場：12時 開演：13時
(15時終了予定)夜・開場：17時 開演：18時
(20時終了予定)

SS席 7000円 S席 5000円 A席 3500円 B席 2000円
〈チケット販売〉

■松山三越1階・インフォメーションカウンター

■いよてつ高島屋7階・プレイガイド

■チケットぴあ



問い合わせ：office@ichiryumanbai.com

090-8280-3854 事務局・片桐 (平日10時～17時)

東京銀座ギャラリーゴトウ 2023.10.6〜14

森本秀樹展を訪ねて

川尻純滋 つなぐ編集・制作



《道の下の家》41.0×61.5 cm ミクストメディア

ほんの少しの滞在だったが、どこか懐かしく、東京のコンクリートと人込みで少々疲れた私の心はいつしか柔らかくなっていた。

画家の森本秀樹さんからポストカードが届いた。東京で個展が開かれている。上京する日程と重なっていたため運良く訪ねることができた。
そこは銀座1丁目のビル七階。宇和島をテーマに描かれたその作品たちは、淡く、しかし深く、美しい色づかいと優しいタッチで、私に静かに語りかけてくる。記憶の中にある港、山、神社がそこにある。
森本さんの作品に囲まれて、しばし故郷にいるような不思議な気持ちになる。

森本 秀樹

1951 宇和島市生まれ 1971 武蔵野美術短大油絵専攻卒業 1977 千葉県展受賞 (77～85 年出品)
1990 上野の森美術館大賞展出品 (92 年賞候補、93 年佳作賞) 1991 昭和会展出品 (92 年出品)
1999 日本国際現代美術展 (NICAF) 出品 (01 年出品) 2003 森本秀樹画集「宇和島」刊行
2006 コレクターによる森本秀樹展 - 宇和島 - (東京 Gallery KANI)
森本秀樹展 - 記憶の UWAJIMA - (宇和島生涯学習センター)
2007 森本秀樹展 父の見ていた風景 - 宇和島 - (長野 梅野記念館絵画館)
森本秀樹展 (愛媛、畦地梅太郎記念美術館)
2014 斎藤実コレクション - 森本秀樹展 - (東京、Gallery ゴトウ) 森本秀樹展 (神奈川、museumfrom winds)
2016 森本秀樹展 (松山ミウラート・ヴィレッジ) 現在 無所属、2010 年よりアトリエを宇和島に移す
2022 森本秀樹・猛 二人展 漂う抒情・記憶の軌跡 (町立久万美術館)
2023 森本秀樹展 (沼津市 めましんストリートギャラリー) 東京を中心に個展 100 回以上、グループ展多数

銀座ギャラリーの

活動と共に

森本秀樹 画家

銀座のギャラリーでは、ここ数年新たな試みとして有名企画ギャラリー 26 軒をジャンル別に分けて、ギャラリスト (案内人) が一組 8 名の参加者を引率しながら一日 2〜3 回、ギャラリーを巡回する「ギャラリストツアー」を始めています。
5 月は銀座の夜会も始まり、提灯をギャラリー入口に掲げ、ワインを用意して 21 時まで開廊してツアーを迎えます。
昨年 10 月には銀座の泰明小学校 3 年生の文化活動の一環として、希望する生徒に先生が引率して、午前中 2〜3 回に分けて「ギャラリストツアー」を体験しました。また、12 月は「Xmas アートフェスタ」が開催され、ツアー参加者が夜の銀座のクリスマスとワインをギャラリーで楽しみます。
個展中に銀座ギャラリストズの活動に伴い「GALLERY EVENT」として一日だけの絵画教室を試みてみました。参加者作品 2 点持参して頂き、作品についてアドバイスやヒントを交えながら語り合い、最後に参加者全員でワイン懇親会を催しました。後日、参加者のうち 2 名がギャラリーでの個展が内定したと吉報が届きました。



1 日だけの絵画教室の様子



泰明小学校 3 年生のギャラリストツアーの様子



文ちゃんとどつぽの
予土線のあの人に会いたい6

無手無冠 4代目女将

やま もと のり こ
山本紀子さん



最寄駅は「土佐大正駅」

文／山下文子
写真／坪内政美



生誕 39 周年記念の「ダバダ火振」

小さな猪口で、くいっと。「栗焼酎ダバダ火振」を一口飲んでみた。ふんわりと甘く、しかし、キリッとした上品な味わいが残る。私は下戸で、このくらいの量で大満足だ。

「栗本来の甘みなよ。私もお酒は少しだけしか飲まないの。昔の人は、女の人にはそんなにお酒を飲むもんじやないっていう躰け。そう育てられたからね」と話すのは、四万十町大正にある明治26年創業の酒蔵「無手無冠（むてむか）」の4代目女将、山本紀子さん（82）だ。

「うちは、おばあちゃん、お母さんと代々女系でね。だから私の旦那さんも婿養子。私がようやく4人の男の子を産んだのよ。お酒が好きな人だったからね、酒蔵に婿に行けるというので、すごく喜んでたそうやけど、お見合いから結婚まで3回くらいしか会ったことないから、どんな人やろうって、ドキドキした。でもね、噛めば噛むほど味がある、いい人じゃった」

今や全国にその名を轟かしている「栗焼酎ダバダ火振」の生みの親は、7年前に亡くなったご主人、彰宏さんだった。

土佐大正駅から歩いて5分ほどのところにある「四万十川焼酎銀行」。これは、彰宏さんのアイデアで、お金ではなく焼酎を預けるというユニークな銀行だ。中に入ると、焼酎が並んだカウンタ―があり、奥には立派な金庫もある。それもそのはず、もともと本物の銀行だったのだ。

「うちの経営が厳しいときには、利子ばかり高こつて、お金も貸してくれん銀行さんやっただけど、いざ、無くなるという時に主人が、そのままこの建物を買ってたんよ。私も銀行の金庫はスゴイもののような気がしてつて、ワクワクしたけど金庫は空っぽ。そりゃさうよね、フフフ…」と紀子さんは笑う。

彰宏さんは、当時の町長や農協、栗の生産者らと協力し、焼酎の酒造免許を取得して昭和60（1985）年に栗焼酎を誕生させた。この銀行に預けるのは、アルコール30度、栗75%の焼酎で、1ヶ月以上金庫に保管され、預かっている熟成時間が「旨味」という利息となる。預金通帳ならぬ「預貯耐通帳」まで発行されるのだ。「面白いことを思いつく人やろ、ロマンがあるよね」と微笑む。

栗焼酎は大ヒット。儲けたお金は、銀行への支払いではなく、いの一歩に従業員に配分したという。【人を大切にする】という彰宏さんの性分からだった。

そして、紀子さんが「これ自費出版したの。1千万かかった」そう言っで見せてくれたのは「土佐の酒袋（平成8年出版）」という一冊の本。当時、高知県にあった23の酒蔵を紀子さんが一軒一軒訪ね歩いて制作したもので、

写真も文もこだわりが詰まっている。

「酒蔵で仕事をしよる本物の姿を写真に撮ってもらいたかった。絵ハガキのような写真じゃなくて、そこで生きる蔵人の姿をね」と当時のことを熱く話してくれた。

高知は酒処。どの酒もそれぞれの歴史やドラマがあり、こだわりがある。この本には、杜氏や蔵人が今まさに酒造りをしているその瞬間がとらえられている。蔵元らは皆、紀子さんの聞きたいことを答えてくれた。

『おまえが酒蔵の娘やったから、みんなが蔵を見せてくれて話をしてくれたんよ』と、うちの主人は言いましたね。」



紀子さんが制作した『土佐の酒袋』

酒蔵に生まれたからといって、蔵に入り、職人たちに直接話を聞くなかなかできないことではない。紀子さんは持ち前の人柄と熱意で高知県内すべての酒蔵を紹介する本を完成させた。今では18軒になってしまった蔵元の思いは今も変わらず受け継がれているのだろう。

受け継がれているものと言えば、紀子さんの出で立ちもそう。11月の秋祭りの頃から4月にかけては、ずっと着物姿なのだという。「50年前まで、日本人は皆着物だったでしょ。」

着物は日本の美しい文化。うちは女系だからばあちゃんの代から捨てられずに着物があるからね」という。

紀子さんは『大正美人の会』という会を結成し、『大正ロマンファッションショー』と題した着物のイベントも開催している。

「土佐大正駅の駅舎は立派な木造でしょう。駅に降りたら、皆振り返って写真を撮っちゃるんよ。1メートル作るのに1億円もかかる新幹線よりも、今ある地元の線路を残すことが大事だと思う。そんな大きなもの作ったら人は、どんどんおらんなる」と話す。

予土線に乗って町歩きをしながら店に立ち寄ってくれる客も多いという。汽車に揺られたどりの着いた時に紀子さんのような女将さんがいるのは、なんと楽しみなことか。出会った人たちは、その魅力に何度も通いたくなるだろう。

「店で人に会うのも大好き。大正ロマンのまち、言つて全国区にするのが私の夢なの！」



「酒のやまもと」外観

と明るい未来を語る紀子さんに、また会いたくなる私であった。



山下 文子（やました あやこ）

宇和島市出身、鬼北町育ち。予土線沿線は県をまたぐも「ザ・生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き。座右の銘は「その角を曲がれば、旅」（※永六輔氏のうけうり）。『四万十の鉄道 予土線』のホームページでコラムを担当。



坪内 政美（つぼうち まさみ）

スーツ姿で撮影するという奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネーター。各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぽ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている。高知県予土線利用促進対策協議会アドバイザー。

四万十川の
鉄道よどせん



協力：高知県予土線利用促進対策協議会

いのちのはなし グーチョキパー 6



「いっぽ、いっぽ、またいっぽ」

文 / 毛利弘子

いつかは巡礼してみたいと願っていた「四国八十八ヶ所巡礼」。日本各地からばかりではなく、世界の国々からも参拝されている地に住んでいるのだからと思っていた。やっとな、具体的に計画を立てた矢先に、コロナ感染症の影響でバスツアー等が全て中止になった。

それなら、歩き遍路体験に参加できませんか？ の誘いを受けた。初回は、近隣の41番札所から43番札所までの13.2キロ、天気にも恵まれルンルンとハイキング気分で歩けた。何より、参加されている皆さんから、体験談等を聞かせてもらい楽しい一日になった。中には、7〜8回も巡礼されている方がいた。1400キロと言われる巡礼道を、月1回のペースで歩くと4年近くかかるとか、気が遠くなる思いがした。それなのに、「続けて参加されませんか？」の笑顔につられて、思わず「はい、続けます」と返事してしまった。

2020年11月、41番札所からスタートした、私の無謀と考える挑戦も、2023年11月で12番札所まで進み、歩いた走行距離は542.3キロ、残りのお寺の数は28ヶ寺となった。1回の走行距離は32〜33キロだけど、全行程の3分の1近くまで、やっとな、やっとな歩いた！ そんな思いがしている。

歩いていると、一人で歩いておられる人に沢山出会う。最近、外国人もよく見かけるようになった。その度に思うのは、私はみんなと一緒に歩ける。一人だったらここまで歩けなかった。途中棄権もしないで歩き続けられている自分自身をもちろん褒めてやりたいけど、みんなと一緒に歩ける、みんなと頑張っているから歩ける気がする。感謝、感謝です。人の一歩は、30〜40センチメートル位だけど、続けていたら1400キロに達するのだなあと思う日々である。

他人は「車やバスで行くと便利で早いよ！」とよく言われる。「確かに！」と正直、心は揺らぐ。昔から、数えきれない先人が歩いてきた道を、この便利な世の中になつた今、同じようにひたすら歩いている自分がいる。歩ききった時に、はっきりと何かを感じる事が出来るのかは分からないけど、とにかく今は、人間としてすごいなあ、愛すべきだと思いつく思いながら、黙々と一歩一歩、歩いてみたい。

「いっぽいっぽ、また一歩。仲間と共に、へんろ道。先人の偉業に想いをのせて、ひたすら歩くへんろ道。元気で一歩一歩、また一歩、ありがと、ありがとへのへんろ道」



もうりひろこ (著) みずせき ゆりえ (絵)
価格 1,572 円 (税込)



毛利 弘子プロフィール

1952 年生まれ 公立小中学校養護教諭を 40 年経験後 2012 年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数

- 受 章 / 平成 24 年愛媛県学校保健功労賞 令和 3 年文部科学大臣学校保健功労賞
- 執筆 / 「いのちのはなしグーチョキパー」(エイデル研究所出版)
- その他 / ・和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
・退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
・カサヨハネ(知的障害児)放課後デイサービス非常勤講師ほか
- 趣味 / 陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート

能山踊り (愛南町久良) のうざんおど



撮影／北濱一男

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

おおもと たか ひさ
大本敬久



1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論著書に『民俗の知恵』（創風社出版）等

南宇和郡愛南町久良には愛媛県指定無形民俗文化財の念仏踊り「能山踊り」が継承されている。天正12年（1584）、土佐国の長宗我部元親に破れて落ち延びた御荘の

武將・勸修寺権大夫基賢を慰霊する芸能として始まり、現在は古木庵および海浜（現在は魚市場）で上演され、地域住民の新盆供養、先祖供養の踊りとして続いている。

毎年8月1日に始まって8月14日まで続くが、11日には能山公の木像が御開帳され、14日には海難者供養や豊漁祈願の踊りも奉納される。基賢の法名「顕徳院殿能山祐賢大居士」にちなみ「能山踊り」と呼ばれている。

太鼓打ちを中心に円輪になって着流し姿の男性が扇を持ち、太鼓にあわせて裸足で踊り、踊りは「ろくじう踊り」「梅の踊り」「恵美須踊り」「綱引踊り」等の8庭ある。昔は48庭あったとも伝えられている。鉦も使われていたという。その大半は中世から近世初期以前に流行した歌謡であり、扇を持つ所作も能に似ていることから県内の獅子舞など多くの民俗芸能よりも発祥が古く、中世的要素を含む芸能として注目されている。

そして、「ろくじう踊り」の歌詞を見てみると阿弥陀信仰の影響が強いことに気づかされる。「イヨ南無阿弥陀 アア南無阿弥陀 イヨ仏の御名を 称うれば これも極楽浄土なりけり」、「二つなき この世は仮の宿なれば 只一すじに 願いたのめよ、

「みな人が 法をたのみて 極楽へ まゐる姿は みな仏なる」。

このような和讃が歌われ、それぞれの歌詞の前後に「南無阿弥陀」と二度繰り返されるが、愛媛の民俗芸能に詳しい今村威氏によると、これらの和讃は、鎌倉時代に活躍した伊予国出身で時宗の開祖となった一遍上人の和歌「南無阿弥陀 仏の御名のいづる息 いらば蓮の 身とぞなるべき」、「ひとりただ ほとけの御名や たどるらん」をののかへる「法の場の人」、「阿弥陀仏は まよひ悟りの 道たへて ただ名にかなふ いき仏なり」に通じており、中世の時宗の芸能集団の「踊り念仏」の歌と共通すると指摘している。なお、「ろくじう」の呼称は「南無阿弥陀仏」の「六字」や時宗（時衆）の古称の「六時衆」の転訛とも考えられ、旋律も主として律音階中心で近世以前に成立した歌謡と判断できる。派手さのない芸能で人目を惹きつける仮装や所作があるわけではないが、歌詞内容や音階から愛媛県内でも稀少な芸能伝承となっており、今後の継承に向けて、地域内外から注目しておくべき文化遺産といえるだろう。

なお、この能山踊りは2022年にユネスコ無形文化遺産に国内41件が登録された「風流踊」に分類され、文化財価値としてはそれらに匹敵するものであることは強調しておきたい。

鉄欠乏性貧血について

不貧血にはさまざまな種類がありますが、最も多いのが鉄欠乏性貧血です。肺で吸い込まれた酸素は赤血球に含まれるヘモグロビンと結合し、全身に運ばれます。鉄はヘモグロビンを作る大切な材料のため、鉄不足は貧血になります。鉄欠乏性貧血は女性に多く、日本人女性の8.5%が鉄欠乏性貧血で、貧血のない鉄欠乏状態の方も41%もあるとの報告もあります。

貧血が進むと立ちくらみ、息切れ、めまい、ふらつき、頭痛、動悸、冷え性などの症状が起こります。重度の鉄欠乏症の場合には、口の周りの炎症、異食症（特に氷を好む）、肌荒れ、脱毛、爪の変形などの症状も出ることもあります。一方で貧血が徐々に進んだ場合、症状を自覚しないことも多く、治療にて貧血が改善してはじめて楽になったことに気づく患者さんも少なくありません。

鉄欠乏の主な原因は、偏食や低栄養、ダイエットによる極端な食事制限などによる鉄分の摂取不足、あるいは過多月経や消化管出血による鉄分の喪失です。アスリート

（特に、マラソンなどの耐久スポーツ）では、鉄の消費の増大や衝撃による赤血球の破壊のために鉄欠乏性貧血が生じる場合があります。

軽度の貧血の場合には無理なダイエットや偏食を止め、レバーや赤身の肉類、魚、大豆製品、緑黄色野菜、海藻類などの鉄分の多い食品を取り入れ、食生活を改善する事で良くなる場合もありますが、進行した貧血の場合には、鉄剤による治療が必要になります。一般に鉄剤投与後数日で自覚症状の改善が見られ、2ヶ月程度で貧血が改善します。貧血が改善しても、肝臓や脾臓、骨髄などに蓄えられていた貯蔵鉄は空っぽです。そのためさらに3〜4ヶ月投与を続けることが必要です。

鉄剤の副作用として、5%程度の方に吐き気、胃痛、下痢などの胃腸障害が出る場合があります。症状が強い場合でも、薬の変更や服用のタイミングを変えることによって改善することも多いため、担当の医師や薬剤師と相談して下さい。便が黒くなりますが、これは心配ありません。服薬困難

な場合には、注射による投与も行われています。

出血による鉄分喪失が疑われる場合は、鉄分補給だけでは根本的な治療にはなりません。過多月経がある場合には婦人科的な診断と治療が必要です。男性や高齢の女性の場合は胃がんや大腸がんなどの消化器系の悪性腫瘍があり、そこから出血している可能性もあります。消化管出血が疑われる場合には便潜血の検査や、内視鏡による検査も必要となります。

貧血には鉄欠乏性貧血以外にも白血病や再生不良性貧血などの造血障害、自己免疫疾患、腎不全、慢性疾患に伴う二次性貧血など様々な種類があります。貧血を調べる検査は簡単ですが、その原因をはっきりさせることが大切です。健康診断などで貧血を指摘されたら放置せず、精密検査を行いましょう。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆



免疫力を高める食事とは

新型コロナウイルスが少し静かになってきましたが、それに代わる感染症の流行をよく耳にするようになりました。そんな中、栄養士の資格を持っていると「免疫力を高めるためには、何を食べればいいのか？」と聞かれることが時々あります。「これを食べれば大丈夫」というものはありませんが、インフルエンザやノロウイルスが流行しやすい時期でもありませんので、今回は免疫力を高める食事について考えてみましょう。

免疫力とは、外から入ってきた細菌や異物を排除して病原体等の外敵から体を守る力です。これは生まれながらにして備わっているもので、ストレスや加齢など何らかの影響で免疫システムが乱れると様々な病気を発症しやすくなってしまいます。つまり、免疫力を高めるために先ず大事なことは「健康であること」です。しっかりと睡眠をとって、朝昼晩の食事を「主食」「主菜」「副菜」をそろえて栄養バランスよく食べる、健全な生活がとても重要となります。

免疫力が低下しているときに摂りたい栄養素については、ビタミン類が筆頭にあげられます。中でも抗酸化作用を持つA、C、Eが特に有効で、それらを多く含む食品は下図のとおりです。

緑黄色野菜は、様々なビタミンを豊富に含んでいるので、日々の食卓にぜひ取り入れて欲しい食品です。

ビタミンA(β-カロテン)

呼吸器や消化器の粘膜を健やかに保つ

- レバー、卵黄、うなぎ、緑黄色野菜(人参、南瓜、青菜類) など

ビタミンC

白血球の働きを高める

- 野菜類、果物類、いも類 など

ビタミンE

活性酸素から細胞膜を守る

- 青背魚、ごま、アボカド、ナッツ類 など

また、近年の研究では、腸が免疫の働きにおいて中心的な役割を果たす器官であることが明らかにされ、腸内細菌を整える発酵食品(ヨーグルト、味噌、納豆、チーズなど)、腸内細菌のエサとなる食物繊維(野菜、きのこ類、海藻類など)を積極的に摂ることも推奨されています。

今回ご紹介するお料理は、免疫細胞の主成分となるたんぱく質(肉、豆腐)に、ビタミンA、C、Eの多い食材を合わせたものです。お試しください。

味噌チーズハンバーグ

(材 料) 2人分

合挽ミンチ肉・・・100g
たまねぎ・・・1/4個
しめじ・・・1/4パック
溶き卵・・・大さじ2
パン粉・・・大さじ2
塩コショウ・・・少々
サラダ油・・・適量
ピザ用チーズ・・・30g

赤味噌・・・大さじ1
砂糖・・・大さじ1
料理酒・・・大さじ2

(作り方)

- ①たまねぎとしめじは、みじん切りにする。
- ②味噌ソースの材料を合わせて混ぜておく。
- ③ボウルに①、ミンチ肉、卵、パン粉、塩、コショウを合わせ、よく練り混ぜる。人数分の楕円形にする。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、③を焼く。中心まで火が通ったら、弱火にして味噌ソースを塗る。その上にピザ用チーズをのせ、蓋をしてチーズが溶けるまで蒸らす。



春菊の洋風白和え

(材 料) 2人分

春 菊・・・80g
にんじん・・・20g
木綿豆腐・・・1/4丁
ピーナッツ・・・30g
砂 糖・・・大さじ1
しょうゆ・・・大さじ1

(作り方)

- ①春菊は茹でてから水にとり、1cmの長さに切って水気を絞る。人参はせん切りにし、茹でてから冷ましておく。
- ②豆腐はキッチンペーパーにのせ、水気をきっておく。
- ③ピーナッツは、粗くつぶしておく。
- ④ボウルに豆腐を入れて、滑らかになるようにつぶし、砂糖、しょうゆで味付けする。①③を入れて和える。



和田 広美

管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター
愛媛大学地域再生マネージャー

お気楽 俳句

素敵な句集をご紹介。川原真理子さんの『ひかり秘めたる』と土井探花さんの『地球酔』。

『ひかり秘めたる』は、ウィットに富む句満載。シニカルな目線、俳諧味滑稽味が実に愉快です。

『地球酔』は、地球に順応したいと願いつつ、なかなかうまくいかないという作者のありのままが十七音に込められています。
(小野更紗)

おこごともまぜてのみほすたまござけ

渦の中ひかり秘めたる かたつむり 蝸牛

水温む 死者は洗濯物出さず

羽子板の飾るしか無き重さかな

年賀状受けてポストの手柄顔

風邪引いて上司が魚に見えにけり

赤い羽根つけてもらふに目の泳ぐ

ご両家の渾身の嘘菊日和

梅となら話ができる祖父である

紙袋はシャネル中身は 水羊羹

川原真理子『ひかり秘めたる』(ふらんす堂刊) より

三択にわたしがあない日の 椿

どうでもよいひととけつこうよい 花火



*「のく」=「どく」「しゃぐ」=「踏む」

絵：律川エレキ

1966 年宇和島市生まれ 奈良市在住

2000 年頃より俳句新聞や月刊「100 年俳句計画」等に挿絵を描く。映像作家

さびしくてさびしいと書く 初日記

時鳥くちびるといふ役立たず ほととぎす

ひきがへる地球は誰の遺作だらう

おとうとを入ればなしの むしご です

秋つらら賞味期限のある笑顔

職歴にやまひは書けず 水の澄む

冬銀河ときどき性別が嫌ひ

轡虫 くつむし あなたも地球酔ですね

土井探花『地球酔』(現代俳句協会刊) より

*句集掲載順 色文字が季語です

おすすめの本

知りたいこと図鑑

みつけ 著 KADOKAWA 書店 刊 ¥1,870 (税込)

知っておきたい・覚えておきたい言葉・暮らしの知恵・常識 etc 役立つ図解 142 作品。

オールカラーでとても凝ったデザインの教養雑学本です。ポスターのようなページもあり、デザインに見入って肝心な知識が頭に入っていないこともあります。手元に置いて気軽に何度もパラパラと眺める感じもいいのでは…。

「見て楽しむことば図鑑」(幻冬舎) ¥1,870 (税込) も発売中！ → 店頭で比べてみて下さい。

協力：岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528





■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊） <https://benibara.webhop.info/>
宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント：吉田 淳治



作品名：『吹かれてる？』（油彩）
作者：鈴木直子（大人クラス）
動的に輝く黄色のトウガラシ。
迷路のように絡む緑色の茎。
濃紺の背景にあってクッキリと際立つ。
トウガラシの具体を頭から除けば、
自在な発想の抽象画にも見えてくる。



作品名：『紅ばら雑貨屋さん』（コピック）
作者：藤岡丈（子どもクラス）
「べにばら」の絵画教室に通うともくん。
なのに「紅ばら雑貨店」に変身させた。
古い建物にカラフル屋根がステキ。
おかしな箱やガチャガチャだっている。
ここならもっと楽しく絵が描けるよ！と。



作品名：『ボタンインコ』（水彩）
作者：二宮菜々美（子どもクラス）
家で飼っているのはオカメインコ。
でも描いたのはなぜかボタンインコ。
のどかでほんわり、午後のひと時。
それはななみちゃんの普段の眼差し。
インコに向けたやさしさがあふれてる。



■アトリエぱれっと 書 Sho Salon <https://art-palette.wixsite.com/>
宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-4332-1222 shosalon15@yahoo.co.jp コメント：山下ちとせ



作品名：『福はうち』（絵てがみ）
作者：岩田穂波
四季折々の絵手紙をお礼状やご挨拶として皆さんに送っていらしゃいます。
今年もにこにこの福が舞い込みそうですね！



作品名：『蓮根協奏曲』（絵てがみ）
作者：古谷久代
扇面を生かした動きのある作品に仕上げました。
縁起の良い蓮根がカラフルで華やかな気持ちになります。



作品名：『祝成人式』（絵てがみ）
作者：善家美枝
娘さんのお名前を考える時に願いを込めたメッセージを素敵な振袖姿に添えました。
とってもおしゃれですね。



有限会社 亀井蒲鉾

専務取締役 亀井万織

「笑顔 200%！」



弊社は明治30年、初代の音次郎が仕出し屋をしていて、その流れで蒲鉾、じゃこ天などの練り物を作り始めました。現在は4代目、おかげさまで創業126年を迎えました。

経営理念は『お客様の笑顔を大切にし、従業員の笑顔を喜びとし、経営の安定化をはかり、地域に貢献する』です。お客様の笑顔や従業員の笑顔の追求をしていて、そのために心がけていることは、まず自分が笑顔でいること、そして周りの方々の笑顔のためなら損得抜きで真心をこめて接客しています。Aー化が進む世の中ですが、最後は人！人とのつながり「縁」を大切にしています。

私は、宇和島東高校を卒業後、大阪の食品スーパーの経理部に就職し

全国蒲鉾組合品評会 5年連続受賞！

食べる Japan 美味アワード 2022 認定

全国観光土産品 2022 推奨品



ました。その後営業、接客、販売などの職種を経験し、29歳で宇和島に帰ってきました。そして、亀井蒲鉾に嫁ぎ、3人の子供に恵まれました。子育てが少し落ち着いていた頃に若手経営塾へ参加させて頂いたことで新たな目標やチャレンジに取り組みむ機会になりました。じゃこ天などは昔ながらの製法を守りつつ、新商品の開発に取り組みました。ふわふわ、もちもち、とろとろのまるでスイーツ感覚で食べられる「フワっ天」や鯛の中骨、中落ちをペースト状にして練り込んだ「たいコロ」、素材にこだわった高級じゃこ天は生魚100%で無添加の「じゃこ丸」などです。全国蒲鉾品評会にもチャレンジし、5年連続受賞させて頂きました。

今まで地元の卸売りが中心でした

が、人口減少、若者の練り物離れなどで、方針を変えて、販路を愛媛以外に進出しています。

他にはない、世界でたった一つの素晴らしい「フワっ天」という商品を武器に、たくさんの方々に喜んで頂ければ嬉しいです。細々とですが、126年地元の方々に支えて頂いたおかげで今があります。自分の会社の事だけではなく、周りの方々の幸せを願い、行動するように心がけています。伝統に甘んじるのではなく、変革し前を向く！そんな亀井蒲鉾の姿勢を見て共感していた人をもっと増やしていきたいなと思います。

宇和島のソウルフードのじゃこ天を次の世代に残したい！という想いを込めて製造、販売しています。まずは地域一番店を目指して、宇和島を代表し、宇和島にお客様を呼べる企業に成長していこうと思っています。

これから
もどうぞ
よろしく
願います。



有限会社 亀井蒲鉾

〒798-0031 宇和島市栄町港 1-2-21 TEL 0895-22-0176



HOME PAGE



LINE



facebook



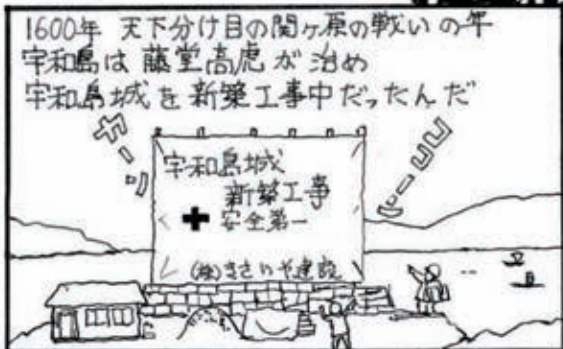
Instagram



うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。



きさいやくん オサワレる どうするタカラ



藤堂高虎さんが宇和島を治めていた期間は短いですが、関ヶ原の戦いなど戦国末期で激動の時でした。板島という地名を宇和島にしたり、宇和島城を建造したのも藤堂高虎さんの時です（参考資料 安部龍太郎著 下天を謀る）



作者プロフィール

本名 / 城内 章 1957年 宇和島生まれ 愛知県在住
宇和島南高等学校卒 職業 / 建設業 趣味 / 漫画イラスト作成 著書に「のらとおばあちゃんの虹」

Tosyu Hyappen

斗酒百篇



「臥龍梅 純米吟醸 直汲み 生原酒」限定

1800ml 3,640 円 720ml 1,859 円（価格は税込）

※写真は 1800ml

三和酒造株式会社 静岡県静岡市清水区

伊達政宗ゆかりの「臥龍梅」が宇和島市役所に植えられているのを思い出して、このお酒を紹介させて頂くことにしました。「臥龍梅」は静岡のお酒。徳川家康が人質時代に酒蔵近隣の寺に植えた梅が龍が伏した様な見事な枝振りの大木となり臥龍梅と呼ばれていることから、寝ている龍が天に昇るがごとく天下人となった徳川家康にあやかって名付けられたそうです。

この『臥龍梅 純米吟醸 直汲み 生原酒』は搾ったばかりの新酒をそのまま瓶詰めしたお酒です。しばらくたてならでの爽やかなフルーティな吟醸香に直汲みならでのプチプチとしたフレッシュな味わいが楽しめる限定酒です。

今年は龍の年。伊達政宗や徳川家康たちが活躍した戦国時代に思いを馳せながら「臥龍梅」で一献傾けるのも良いんじゃないでしょうか？

たかむら酒の店

宇和島市神田川原 90 ☎ 0895-22-0624



<http://taka-sake.o.oo7.jp/>



※斗酒百篇（としゅひゃっぺん）とは たくさんの酒を飲みながら、たくさんの詩を作ること。 古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白のことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字／矢間大蔵

宇和島信用金庫・上田信用金庫 業務提携企画

懸賞品付定期預金「絆」



お取扱期間

令和5年12月11日(月)～令和6年2月29日(木)

上田城

定期預金の種類・お預入期間

スーパー定期1年(自動継続)

※満期後は自動継続扱いとし、継続後の利率は継続日における店頭表示金利といたします。
※お利息には20.315%(国税15.315%・地方税5%)の税金がかかります。

お取扱の金利

0.02%

お預入金額

一口座10万円以上1,000万円以内

※新規または増額のご契約に限りです。(お一人様あたり1,000万円以内)

ご利用頂ける方

個人のお客様(個人事業主含む)

募集金額

総額20億円(募集総額となり次第終了)

※変更となる場合がございます。

抽選で上田市特産品を
150名様にプレゼント!



ジャム小瓶3本
詰合せ

ぶどうコンコード、
三宝柑、あんず
各160g

※写真はイメージです。
※抽選日以前(抽選日当日を含む)の途中解約については、抽選権を失効いたします。
※当選者発表は景品の発送をもって発表とさせていただきます。
※懸賞品の抽選は令和6年4月上旬に行います。

「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

●宇和島市(本庁、津島支所、吉田支所、三間支所、中央図書館、吉田図書館、中央図書館津島分館、生涯学習センター、パフィオうわじま市立宇和島病院、伊達博物館、畦地梅太郎記念美術館、歴史資料館) ●きさいや広場 ●道の駅みま ●シロシタ ●宇和島商工会議所 ●南楽園 ●かどや(弁天町店・味奈味) ●ハイウェイレストラン宇和島 ●和日輔 ●福 DON ●盛運汽船 ●岩崎書店 ●木屋旅館 ●はまゆう薬局 ●ひまわり薬局 ●JR宇和島駅 ●JR松山駅 ●小野商店(津島) ●安藤コーヒー ●べにばら画廊 ●アトリエぱれっと ●香川・愛媛 せとうち旬彩館(東京) ●宇和島信用金庫各支店 他

「つなぐ」の発行は、新春号(1月)、春号(4月)、夏号(7月)、秋号(10月)です。

※「宇和島クラブ」協賛業者 ※つなぐのバックナンバーは宇和島信用金庫のホームページでご覧いただけます



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —